

2023年度

シラバス



学校法人 湯梨浜学園

湯梨浜学園中学校

〒689-0727 鳥取県東伯郡湯梨浜町田畑3-2-1

TEL (0858)48-6810

FAX (0858)48-6813

第 1 学年

教科名	国語	科目名	国語	単位数	5
対象	中学1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 国語を学びながら、確かな知識と他者を理解する力、自身の意見を他者に伝える力を養う。 ② 深い思考力・読解力・表現力を身につけていく。 ③ 国語を学ぶことに興味関心と意欲を持ち、その力を他者や外部にむけて発信出来るようになる。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストの取り組みで評価。 ② 思考・判断・表現…授業態度、発表用資料作成、課題提出物などで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業への取り組み、発表で評価。				
学習方法	① 様々な教材を用いた先取り学習を行い、論理的な思考と確かな知識を付ける。 ② 学校独自教材や、型にはまらない多角的な国語へのアプローチ方法で生徒の発想と積極性を育てる。 ③ 他者に自分の考えや思いを、正しく分かりやすく伝えることを目指す取り組みを行う。				
教科書・教材等	新しい国語1・2（東京書籍） キーワードの卵（尚文） 中1徹底演習テキスト（受験研究社） 中学書写（学図） 自作テキスト など				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	国語の基礎 文法・単語 文章の読み方 国語・漢和辞典の使い方	文章を論理的に読解できるように、 国語の基本である、単語・文法・ 文の構造・主述の関係などを学ぶ。 国語辞典・漢和辞典等の効果的な 利用方法を学ぶ。	15	10	「ニュースの見方を考えよう」 「『常識』は変化する」 復習及び発展内容	筆者の主張を理解し、情報を的確に読み取る。 客観的な事実と、その事実に基づく筆者の主張を読み取り、明確に区別できるようにする。	20
5	「話し方はどうか」 「ハチドリ不思議」 「さんちき」	話すときの適切な速度や表情について理解し、音読する。また、抽象・具体など、文章を読むための基本ルールを学ぶ。 文章の展開を理解し、主題を考える。読み取った内容を踏まえ、心情の変化をとらえる。	20	11	「集まって住む」 復習及び発展内容	筆者の独特の表現を理解し、絵や写真の内容を文章の形で自分で表現できるようにする。	20
6	「小さな発見を詩にしよう」 「詩の心」 「飛べ、かもめ」 古文の基本 「さまざまな古典作品を知ろう」 「伊曾保物語」 「竹取物語」	様々な表現の仕方を学び、自分の表現する幅を広げる。 語句や歴史的仮名遣いに注意し、古文のリズムを感じながら音読し、古文に親しむ。	20	12	「字のない葉書」 復習及び発展内容	登場人物のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを持つ。	15
7	「碑」 「質問しよう」 「会話が弾む質問をしよう」	戦争の悲惨さや当時の状況を学び、自分の考えを深める。また、文章を正確に読み取る力を養う。 表現力、伝える力を養う。最終的には、皆の前で発表できるようにする。	15	1	復習及び発展内容 「メッセージをどう聞かか」	筆者の主張を的確にとらえ、目的に応じて、文章の形態や展開に違いがあることを理解する。	15
8	復習及び発展内容			5	「方言と共通語」 「方言のクッション」 古文の復習 「徒然草」 「枕草子」	必要な情報を集めて処理し、自分の考えを伝える。 「枕草子」「徒然草」の学習を通して、当時のものの考え方や社会状況を理解する。歴史的仮名遣いを復習する。用言を中心に文法事項を理解する。	20
9	「オオカミを見る目」 「スズメは本当に減っているのか」 「漢文に親しむ」 「矛盾」	段落の役割や、段落同士の関係に着目して文章の構成を捉え、内容を理解する。 漢文を読むための基本となる返り点などを学び、漢文に親しむ。	20	3	「説得力のある提案をしよう」 1年間の復習及び発展内容	表現力、伝える力を養う。最終的には、ディベート等を通して、実践する。 1年間の復習及び、発展内容を学習する。	15

備考 ・適宜、作文・小論文指導を行う。

・適宜、書写の授業を行う。

教科名	社会	科目名	地理	単位数	5
対象	中学1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 日本や世界の地理的な事象に対する関心を高める。 ② 各地域の地理的事象を位置や空間的な広がりから捉えるための視点や方法を身につける。 ③ 日本や世界の諸地域との相互関係や地域的特性、共通性に着目し、諸事象が変容していることを理解する。 ④ グラフ・地図の読み取り技能を身につける。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、ワークシートなどをもとに評価する。 ② 思考・判断・表現…定期考査、ワークシート、授業内の発表などをもとに評価する。 ③ 主体的学習に取り組む態度…ワークシートや課題提出物などをもとに評価する。				
学習方法	① 地球儀や地図を多用し、地球的規模で世界の各地域の位置関係やそれぞれの産業を理解させ、各地域の特色や違いについて地理的な関心を深める。 ② 統計資料や、地勢図などの資料読解を通し、各地域の特徴を地理的にまとめたり発表したりする方法を養う。 ③ 白地図を使用し、日本や世界の諸地域を視覚的に鳥瞰的に学習し、地域の特色を理解する。				
教科書・教材等	新しい社会地理（東京書籍） 新編中学校社会地図（帝国書院） ワーク地理Ⅰ（エデュケーショナルネットワーク） ワーク地理Ⅱ（エデュケーショナルネットワーク） 中学白地図（浜島書店）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	1 世界のすがた ①地球のすがた ②世界のすがたとさまざまな地域 ③地球上の位置	地図と地球儀の違いや地図の種類と世界の国々の位置を理解する。 地図を見たり、写真を見たりしながら特に五感を使い、徐々に地理学習の視点や方法を身につける。	15	10	4 日本様々な地域 ①地域調査の手法 ・地形図 ・文献、資料調査 ②都道府県と地方区分	日本様々な地域を学ぶにあたり、資料の読み方、地形図の読図という技能を習得する。	20
	④国々の国名と位置 ⑤世界の地域構成 日本の地域構成	世界各国の位置を地図帳を使って確認しながらそれぞれの国の形や大きさを理解する。 世界の地域構成・日本の地域構成を理解しながら、時差のしくみや領域・領土についても理解する。	20	11	5 世界から見た日本のすがた ①日本の自然環境の特色 ・世界の地形 ・日本の地形 ・世界の気候 ・日本の気候 ・自然災害	世界から見た日本という観点で、日本の自然環境を学習しそれぞれの地域の特色を理解する。世界の自然環境にも目を向け、地域の特色ある自然に気付く。 世界の気温や降水量を見ながら、それぞれの気候の特色とそれをもたらす要因に気付くことによって地域差があることを理解する。	20
6	2 世界各地の人々の生活と環境 ①雪や氷の中の人々～常夏で暮らす人々 ②低い土地・山に暮らす人々 ③世界の気候区分 ④人々の生活に根付く宗教	世界各地の人々の生活を、写真や資料を使いながら、その違いを理解する。 世界の地域の気候を学びながら、地域の気温や降水量の違いに気付き、各地域の生活に気候が深く関わっていることを理解する。	20	12	②世界と日本の人口 ・世界の人口 ・日本の人口 ・日本の過疎と過密 ③世界と日本の資源 ・世界の資源 ・世界の産業 ・日本の産業	世界人口の推移を見て、日本の人口の推移のあり方を考える。 世界の資源の生産地を見ながら、それぞれの資源の偏在性に気付き、産業の立地や特徴、課題を理解する。	15
	3 世界の諸地域 ①アジア州 ②ヨーロッパ州	世界の諸地域の国々の産業や自然をつかみながら、マクロ的に且つミクロ的に地理観を身に付ける。各州の特色を、白地図を使いながら意識的に国の特色をつかむ。	15	1	④世界と日本の結びつき ・世界のグローバル化 ・日本各地を結ぶ交通と通信 ・貿易	世界の交通を見ながら地域間の広がりや学習する。また時間距離が短くなったことに気付く。	15
8	③アフリカ州	世界の諸地域の国々の産業や自然をつかみながら、マクロ的に且つミクロ的に地理観を身に付ける。各州の特色を、地図帳を使いながら意識的に国の特色をつかむ。	5	2	6 日本の諸地域 ①九州地方 ②中国四国地方 ③近畿地方 ④中部地方 ⑤関東地方 ⑥東北地方 ⑦北海道地方	日本の諸地域を都道府県という小世界の自然や産業を通して、それぞれの都道府県の特色をつかみ、地理的な思考を身に付ける。 日本をいろいろな角度から見ることで、違った日本に気付く。	20
	④北アメリカ州 ⑤南アメリカ州 ⑥オセアニア州	世界の諸地域の国々の産業や自然をつかみながら、マクロ的に且つミクロ的に地理観を身に付ける。各州の特色を、地図帳を使いながら意識的に国の特色をつかむ。	20	3	7 地域のあり方	身近な地域における課題を把握し、調べ学習を通して解決策などを提案できるようにする。	15

備考

教科名	数学	科目名	代数	単位数	4
対象	中学1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 日常の事象(や社会の現象)を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、問題解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を育てる。 ② 数学の事象から(見通しをもって)問題を見だし解決したり、解決の過程や結果を振り返って統合的、発展的に考察する力を育てる。 ③ 数学的な表現を用いて筋道を立てて(論理的に)説明し伝え合う力をつける。				
評価の観点 評価方法	① 「知識・技能」定期テストによる評価 ② 「思考・判断・表現」小テストや定期テストによる評価 ③ 「主体的に学習に取り組む態度」提出物や授業中の取り組みによる評価 ①②が7割程度、③が3割程度、10段階評価				
学習方法	① 教室での授業を基本とし、必ず予習をする。授業の進度はやや速く、演習と復習に時間をかけ既習範囲の定着を図る。 ② 放課後に演習問題、質問などに応じる。習熟が不十分の場合は放課後補習をする。個別の添削を行う。 ③ 宿題プリントはその日のうちに、丸付け、間違いのやり直しをして、提出日を守って提出する。				
教科書・教材等	体系数学1 代数編(数研出版)、体系問題集 数学1 代数編 標準(数研出版) 未来へひろがる 数学1、2(啓林館)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第1章 正の数と負の数 1. 正の数と負の数 2. 加法と減法	数の範囲を拡張し、正の数・負の数の意味を理解する。 正の数・負の数の加法と減法の意味を理解し、その計算ができる。	12	10	5. 連立方程式の利用	文章を数式にすることが容易になることを利用し、いろいろな場面で活用することができる。	16
	5	3. 乗法と除法 4. 四則の混じった計算			正の数・負の数の乗法と除法の意味を理解し、その計算ができる。 数の範囲と四則計算の可能性について考え、身近な事象を負の数を用いて表現し、処理することができる。	2. 比例とそのグラフ 3. 反比例とそのグラフ 4. 比例、反比例の利用	
6		第2章 式の計算 1. 文字式 2. 多項式の計算 3. 単項式の乗法と除法 4. 式の値 5. 文字式の利用	いろいろな数量の関係や法則などを、文字を用いて一般的かつ簡潔に表現するよさを理解する。 文字式を書くときの約束に従ったり、1次式の加法や減法、単項式の乗法と除法の計算ができる。 文字式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解し、数量の関係や規則性を文字を用いて一般的に説明することができる。	16	12	5. 1次関数とそのグラフ 6. 1次関数と方程式	1次関数の特徴を理解し、1次関数のグラフがかけたり、直線が与えられているとき、その直線の式が求められる。 1次関数のグラフと2元1次方程式のグラフとの関係や、連立方程式の解とグラフとの関係を明らかにする。 具体的な事象を1次関数とみなし、それを問題解決に利用する。
	7	第3章 方程式 1. 方程式とその解 2. 1次方程式の解き方	方程式とその意味、方程式を解くことの意味を理解し、等式の性質を使って、簡単な方程式を解くことができる。 移項の意味を理解し、移項によって方程式を解くことができる。 また、方程式を解く手順をまとめ、いろいろな方程式を解くことができる。			12	1
8		3. 1次方程式の利用 4. 連立方程式	日常生活や事象から条件を読みとり、式として表現し、その式を処理し、解決することができる。 連立方程式とその意味、連立方程式を解くことの意味を理解し、連立方程式を解くことができる。	4	2		
	9					16	3

備考

教科名	数学	分野名	幾何	単位数	3
対象	中学1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 図形に関する基礎的な概念の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得する。 ② 事象を数理的に考察する能力を高める。 ③ 数学的活動の楽しさ、数学的な見方・考え方のよさを知り、それらを積極的に活用する態度を育てる。 ④ 発展的内容を積極的に取り入れると同時に、中学1年生として身につけておくべき内容を徹底して習得する。				
評価の観点 評価方法	① 「知識・技能」定期テストによる評価 ② 「思考・判断・表現」小テストや定期テストによる評価 ③ 「主体的に学習に取り組む態度」提出物や授業中の取り組みによる評価 ①②が7割程度、③が3割程度、10段階評価				
学習方法	① 教室での授業を基本とし、必ず予習をする。演習と復習に時間をかけ既習範囲の定着を図る。 ② 放課後に演習問題、質問などに応じる。習熟が不十分の場合は放課後補習をする。個別の添削を行う。 ③ 宿題プリントはその日のうちに、丸付け、間違いのやり直しをして、提出日を守って提出する。				
教科書・教材等	体系数学1 幾何編（数研出版）、体系問題集数学1 幾何編 標準（数研出版） 未来へひろがる数学1、2（啓林館）				

年間授業計画								
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数	
4	第1章 平面図形 1. 平面図形の基礎 2. 対称な図形 3. 図形の移動	図形を学ぶ上で必要不可欠な「直線」や「点」などの用語を学ぶ。「線対称」と「点対称」、「回転移動」や「平行移動」の考え方を学ぶ。 基本的な作図を習得することにより、図形についての見方・考え方を身につける。 四角形や円の面積、周の長さの計算などを学ぶ。補助線を用いる必要がある複雑な図形の面積、長さの計算を学ぶ。	9	10	第3章 図形と合同 1. 平行線と角 2. 多角形の内角と外角	平行線の性質、多角形の内角と外角の性質を理解し、図形の証明の基礎を身につける。 三角形の合同条件を導き、それを利用して三角形の合同を証明できるようにする。 基本的な証明の組み立て方を学び、筋道を立てて考える態度、表現する技能を身につける。	12	
	5		4. 作図		12		3. 三角形の合同条件 4. 証明の進め方	12
	6		5. 面積と長さ		12		(4. 証明の進め方の続き) 第4章 三角形と四角形 1. 二等辺三角形	9
7	第2章 空間図形 1. いろいろな立体 2. 空間における平面と直線 3. 立体のいろいろな見方	様々な立体の名前と特徴を理解する。平面と直線、2平面の位置関係などを理解する。 面が動いてできる立体、立体の切断、投影図、展開図など立体のいろいろな見方を学ぶ。	9	1	2. 直角三角形の合同	直角三角形の合同条件を学び、それを使って証明に応用できるようにする。	9	
	8		問題演習		3		3. 平行四辺形	12
9	4. 立体の表面積と体積	平面図形の面積計算を利用した立体の表面積、側面積、体積の計算の方法を習得する。	12	3	4. 平行線と面積	平行線と面積の関係を利用し、面積を変えずに境界を改める方法を考える。	9	

備考

教科名	理科	科目名	中学理科	単位数	3
対象	中学1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するための技能を身に付ける。 ② 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ③ 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	未来へひろがるサイエンス1（啓林館）・未来へひろがるサイエンス2（啓林館） 中学の理科-物理-化学-（教育開発出版）・中学の理科-生物・地学-（教育開発出版）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	生命編① ・自然の中にあふれる生命 ・植物の特徴と分類 ・動物の特徴と分類	・ルーペの使い方を学ぶ。 ・顕微鏡の使い方を学ぶ。 ・花のつくりとはたらきを学ぶ。 ・子葉・葉・根のつくりとはたらきを学ぶ。 ・植物の分類について学ぶ。 ・脊椎動物、無脊椎動物の生活やからだのつくりを学ぶ。 ・動物の分類について学ぶ。	9	10	・いろいろな気体とその性質 ・水溶液の性質 ・物質のすがたとその変化	・いろいろな気体の性質を学ぶ。 ・物質が水に溶ける現象のしくみを学ぶ。 ・質量パーセント濃度の計算について学ぶ。 ・状態変化について学ぶ。 ・混合物の分離方法を学ぶ。	12
5	生命編② ・生物のからだをつくるもの ・植物のからだのつくりとはたらき ・動物のからだのつくりとはたらき	・動物細胞と植物細胞の違いを学ぶ。 ・光合成と呼吸について学ぶ。 ・栄養分はどのように体内に取り入れられているかを学ぶ。 ・血液がどのように流れているのかを学ぶ。 ・刺激を受けとってから、反応するまでのしくみを学ぶ。	12	11			12
6	・動物の行動のしくみ		12	12	エネルギー編① ・光による現象 ・音による現象	・光の性質を学ぶ。 ・空気と水などの境界での光の進み方を学ぶ。 ・凸レンズによってできる像を学ぶ。 ・音の伝わり方を学ぶ。 ・音の振幅・振動数と聞こえる音の関係を学ぶ。	9
7			9	1			9
8			3	2	地球編① ・ゆれる大地 ・火をふく大地	・地震のゆれや特徴、ゆれが伝わるしくみを学ぶ。 ・火成岩のでき方を学ぶ。	12
9	物質編① ・いろいろな物質とその性質	・金属、非金属や有機物、無機物の分類を学ぶ。 ・密度について学ぶ。	12	3			9

備考

教科名	音楽	科目名	音楽	単位数	1
対象	中学1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 ② 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。 ③ 多様な音楽に興味・関心を持ち、幅広く鑑賞する能力を育てる。				
評価の観点 評価方法	① 自己のイメージをもち、感性を働かし、創造的で個性豊かに技能を身に付けている。 ② 音楽文化に対する総合的な理解を深め、そのよさや美しさを個性豊かに味わう。 ③ 音楽文化を愛好・尊重し、個性豊かに意欲的・主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わう。				
学習方法	① 腹式呼吸による豊かで自然な発声を身に付ける。 ② アルトリコーダー、クラシックギターの基本奏法を学ぶ。 ③ 楽典の基礎を学び、視唱(奏)力を付ける。 ④ 発想記号、強弱・作品の時代背景、曲のスタイルなど、作品についてより深く理解、鑑賞、表現出来るようにする。				
教科書 教材等	中学生の音楽1(教育芸術社), 中学生の器楽(教育芸術社)ほか				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	「We'll Find The Way」 「パフ」 「朝の風に」 「学園歌」	<ul style="list-style-type: none"> 腹式呼吸を基本とした豊かな歌唱力をつける。 基本的な発声法を身に付け、自分のもつイメージ・感情をのびのびと楽しく表現出来るようにする。 	3	10	「かっこう」 「聖者の行進」 「オーラ・リー」	<ul style="list-style-type: none"> Aリコーダーによる独奏・合奏を通して、リコーダーの基本を身に付け正確な演奏が出来るようにする。 	4
5	ビンゴでリズム楽語ゲーム 「愛のロマンス」 「エーデルワイス」 「マルセリーノの歌」	<ul style="list-style-type: none"> ゲームを通して、楽典の基礎知識を身に付ける。 ギターによる独奏・合奏を通して、ギターの基本奏法や基本知識を身に付け、正確な演奏が出来るようにする。 	4	11	郷土の音楽 「魔王」「春」 「サウンドオブミュージック」	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞を通して、歴史・文化・風土を含め、より深く作品について理解出来るようにする。 	4
6			4	12			3
7			3	1	「マイバラード」 「夢の世界へ」 「ふるさと」 「卒業式関連唱歌」	<ul style="list-style-type: none"> 調和した和声を目指す2～3部合唱を行う。 	3
8	「かっこう」 「聖者の行進」 「オーラ・リー」	<ul style="list-style-type: none"> Aリコーダーによる独奏・合奏を通して、リコーダーの基本を身に付け正確な演奏が出来るようにする。 	1	2			4
9			4	3			3

備考： 曲目は変更される場合があります。

教科名	美術	科目名	美術	単位数	1
対象	中学1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 美術に対する親しみと興味を育てる。 ② 自分の感性を大切に、自信を持って制作に臨む。 ③ 中学校で学ぶ美術の導入として、基本的な技術を習得する。				
評価の観点 評価方法	① 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。(美術への関心・意欲・態度) ② 感性や想像力を働かせて豊かに発想し、よさや美しさなどを考え心豊かで創造的な表現の構想を練っている。(発想や構想の能力) ③ 感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付け、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。(創造的な技能)				
学習方法	① 個人制作と、一斉授業。				
教科書・教材等	美術1(日文)、美術資料(秀学社) 水彩用具、スケッチブック、美術資料、など				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	鉛筆で静物、風景、人物を描く。	対象をよく観察して形、明暗、量感、質感などを描写する。		10	水彩で静物、風景を描く。 * 9月の内容の継続	鉛筆デッサンで学んだ明暗、量感などを色彩で表現する。	
5				11	シナ材の板からお面を彫刻刀を使って彫る。	能面、伎楽面などを参考にしながら想像力を働かせ、自分らしい表現ができたか、最後まで仕上げることができたかどうかをみていく。	
6				12			
7	自然物をもとに、創造的に構成する。	スケッチや資料をもとに、感じ取ったことや考えたことを、形や色彩で表現する。		1	鑑賞する。	美術作品の鑑賞を通して、生きることへの願いをよみとる。	
8				2	文字のデザイン	レタリングを実施する。	
9	水彩で静物、風景を描く。	鉛筆デッサンで学んだ明暗、量感などを色彩で表現する。		3			

備考

教科名	保健体育	分野名	保健体育	単位数	3
対象	中学1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。				
評価の観点 評価方法	① 忘れ物や提出物などを含め、授業を通して自らを高めようとする意欲・関心・態度を評価する。 ② 各競技の技能を実技テストによって総合的に評価する。 ③ 各学期ごと、自己の振り返り、努力・工夫したことを思考・判断として総合的に評価する。				
学習方法	① 集団行動 ② 基礎的・合理的な運動の実践 ③ 教科書・資料を用いた学習				
教科書・教材等	必要に応じて視聴覚教材 中学校保健体育（大修館書店）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	体づくり運動 ※体育理論 運動やスポーツの多様な楽しみ方	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身につけ、組み合わせることができる。 運動やスポーツが多様であることについて理解できる。	9	10	武道（剣道）	技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする。 相手の動きに応じた基本動作から基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの攻防を展開する。	12
5	陸上競技	記録の向上や競技の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率の良い動きを身につける。 積極的に取り組むと共に、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、健康・安全に気を配ることができる。 特性や成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、取り組み方を工夫できる。	12	11	器械運動（マット・跳び箱）	技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。 マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技で、発展技を行うこと、それらを組み合わせること。 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと。	12
6			12	12			9
7	球技（ソフトボール）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できる。 ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開する。	9	1	球技（バスケットボール）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できる。 ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開する。	9
8	※心身の機能の発達と心の健康	心身の機能の発達と心の健康について理解できる。	3	2	球技（バドミントン） ダンス（約4時間）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できる。 ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開する。 感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流ができる。	12
9	水泳（約2時間）	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身につけることができるようにする。	12	3			9

備考

教科名	技術・家庭	分野名	技術分野	単位数	1
対象	中学1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 生活と技術についての基礎的に理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身に付けるようにする。 ② 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 ③ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。				
評価の観点 評価方法	① 関心・意欲・態度・・・授業態度、作品提出物などで評価 ② 知識・理解・・・ノート、発表、レポート ③ 表現・思考・判断・・・授業への取り組み、発表、作品、提出物で判断				
学習方法	① 作品の製作・完成を通して学ぶ方針で、実習や作業を中心とする。また、教科書だけではなく、ICT機器等を利用して知識と技術を習得する。				
教科書・教材等	技術・家庭 技術分野 (教育図書株式会社) 技術分野ワークシート (教育図書株式会社)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	<栽培> 栽培と私たちの生活 1. 作物の生育を調べよう 2. 生育の様子と栽培技術の基本を知ろう	身近な植物に興味を持つ。 栽培への意欲・関心を持つ。 栽培の知識を深める。	3	10	3. 製品に適した材料を選ぼう 4. 製品を丈夫で、使いやすくしよう 5. 加工、接合、仕上げの方法を調べよう	日常の製品に興味をもつ。	4
5	栽培と私たちの生活 3. 栽培計画をたてよう 4. 健康な作物を育てよう	栽培への意欲・関心を持つ。 野菜の種類、栽培法を知る。	4	11	6. 製品の構想をまとめ図に表そう。	製図や構想図を理解し、製図できる。	4
6	栽培と私たちの生活	栽培への意欲・関心を持つ。 栽培技術を身につける。	4	12	<製品の製作> 1. 制作の準備をしよう 2. けがきをしよう 3. 材料を切断しよう	木材加工に必要な道具を理解し、使用することができる。	3
7	栽培と私たちの生活	栽培への意欲・関心を持つ。 栽培技術を身につける。	3	1	4. 部品を正確に加工しよう	制作に応じた道具を使い分けられることができる。	3
8			1	2	5. 組み立てよう 6. 製品の構想をまとめ、図に表そう 7. 製品を長く使うための工夫をしよう	制作にあたって強度などを考え作業する。	4
9	<木材加工> 製品の設計 1. 身の回りの製品を調べよう 2. つくってみたい製品を考えよう	製品ができるまでの工程を理解する。	4	3	8. 仕上げ、塗装 9. オリジナル作品製図	制作への意欲・関心をもつ。 作業を通して、日常生活へ活かせるよう心がける。 強い構造を用いて、第三角法による製図を行う。	3

備考

教科名	技術・家庭	分野名	家庭分野	単位数	1
対象	中学1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得する。 ② 家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を身につける。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…実技試験やワークシートなどをもとに評価する。 ② 思考力・判断力・表現力…ワークシートなどをもとに評価する。 ③ 学びに向かう力…実習や実験への取り組み、振り返りをもとに評価する。				
学習方法	① 教室での一斉授業や実験・観察を通して内容を理解する。 ② 調理実習などの実習により、体験の中で実践的な態度を身につけていく。				
教科書・教材等	技術・家庭 家庭分野 (教育図書株式会社) 家庭分野ワークシート (教育図書株式会社)				

年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	わたしたちの生活の自立 B 食生活と自立 第1章 健康と食生活	<ul style="list-style-type: none"> 「生活の自立」とは何かを考える。 自立するための課題を把握する。 食事が果たす役割を考える。 食生活を見直し、問題点に気づく。 	3	10	第3章 日常食の調理と地域の食文化	<ul style="list-style-type: none"> 調理の流れと手順をまとめる。 調理実習の計画を立て、実習する。 調理実習の反省をし、評価する。 	4
5		<ul style="list-style-type: none"> 栄養素および水分の種類と体内での働きをまとめる。 食品によって、含まれる栄養素がちがうことに気づく。 中学生の栄養の特徴を理解する。 	4	11		<ul style="list-style-type: none"> 食生活に関わる課題を把握し、自分の食生活をよりよくする方法を考える。 自分や家族の食生活を振り返り、問題点を改善する工夫をする。 	4
6		<ul style="list-style-type: none"> 6つの食品群と食品群別摂取量のめやすについて理解する。 必要な栄養素を満たす1日分の献立を考える。 	4	12		<ul style="list-style-type: none"> 地域の食材を生かした食事や郷土料理を調べる。 	3
7		<ul style="list-style-type: none"> 生鮮食品と加工食品の特徴、種類、表示やマークの意味を理解する。 食品添加物について実験を通して理解を深める。 	3	1		<ul style="list-style-type: none"> 調理科学実験を通して、食材の性質や特徴を理解する。 	3
8		<ul style="list-style-type: none"> 加工食品の長所や短所を調べ学習を通して理解する。 	1	2		<ul style="list-style-type: none"> 効率よい調理方法を調べて実践することを通して、調理法の重要性を理解する。 	4
9		<ul style="list-style-type: none"> 穀物や糖類などの特徴を実験や観察を通して理解する。 	4	3	C 衣生活・住生活と自立 第2章 わたしたちの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> 衣服のはたらきをまとめ、目的に応じた衣服の着用や、個性を生かした着用を考える。 	3

備考

教科名	外国語	科目名	英語	単位数	6
対象	中学1年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 英語を聞くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。 ② 英語を話すことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを表現することができるようにする。 ③ 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解することができるようにする。 ④ 英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを文章にすることができるようにする。				
評価の観点 評価方法	① 4技能（読む・書く・聞く・話す）のための知識と技能を身につけているかという観点で、定期考査、実力テスト、小テストなどによる評価を行う。（知識・技能） ② 学習した知識や技能を活用できているかという観点で、定期考査、実力テスト、授業時における英語活動などによる評価を行う。（思考・判断・表現） ③ 異文化理解や英語を用いてのコミュニケーションへの主体的な取り組みという観点で、授業や課題への取り組み、提出物などによる評価を行う。（主体的に取り組む態度）				
学習方法	① 予習で新出単語の意味を確認し、本文の概要を理解する。 ② 教科書の本文の内容を理解する上で必要な文法事項、語法を学習する。 ③ 本文の内容を理解した上で、一斉音読やペアリーディング等を繰り返し行う。				
教科書・教材等	教科書 NEW TREASURE STAGE1 (Z会) NEW TREASURE STAGE2 (Z会) 副教材 NEW TREASURE STAGE1 文法問題集 (Z会)、NEW TREASURE STAGE2 文法問題集 (Z会)、NEW CROWN 1 (三省堂)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	Let's start!	<ul style="list-style-type: none"> 授業ガイダンス アルファベット、身の回りの単語、あいさつなど 	18	10		<ul style="list-style-type: none"> 命令文 (be動詞) 	24
	Lesson 1 <ul style="list-style-type: none"> 自分の名前や出身を説明する 身のまわりの物や人について紹介する 	be動詞の文1 <ul style="list-style-type: none"> I am (You are) ~ This(That) is ~ 否定文/疑問文 			Lesson 7 <ul style="list-style-type: none"> 「今している」ことについて説明したり、たずねたりする 「今している」動作と「習慣的な動作」を区別する 	<ul style="list-style-type: none"> 現在進行形 現在進行形の文 否定文/疑問文 現在形と進行形 	
5	Lesson 2 <ul style="list-style-type: none"> 自分の家族や身近な人を紹介する 物の名前や特徴を説明する 	be動詞の文2 <ul style="list-style-type: none"> He (She) is ~. What is ~? / 形容詞 Who is ~? / AorB 形容詞 (限定用法・叙述用法) 	24	11	Lesson 8 <ul style="list-style-type: none"> 過去の出来事や経験について話したり、たずねたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 一般動詞の過去形 一般動詞の過去形 (規則動詞) 否定文/疑問文 一般動詞の過去形 (不規則動詞) 	24
	Lesson 3 <ul style="list-style-type: none"> 自分の習慣や好き嫌いについて説明したり、相手に尋ねたりする 複数ある人やものについて説明する 	一般動詞の文1 <ul style="list-style-type: none"> 否定文/疑問文 What do you...? 名詞の複数形 冠詞 These/Those 代名詞の目的格 			Lesson 9 <ul style="list-style-type: none"> 過去の状態や、過去にしていた動作について伝える 時間や天気について話す 	be動詞の過去形 <ul style="list-style-type: none"> be動詞の過去形の文 過去進行形 特別用法のit 	
6	Lesson 4 <ul style="list-style-type: none"> 身近な人の日常生活について紹介する 時や場所を尋ねたり答えたりする 	一般動詞の文2 (3人称単数) <ul style="list-style-type: none"> 否定文/疑問文 頻度を表す副詞 Where/When 	24	12	Lesson 10 <ul style="list-style-type: none"> これからの予定や、これから起こることについて伝える 相手に許可を求めたり、指示を伝えたりする 方法や理由をたずねる 	<ul style="list-style-type: none"> 未来を表す表現 be going toを用いた文 否定文/疑問文 How...? / Why...? willを用いた文 must/may 	18
		be動詞の文と一般動詞の文の違いを理解して肯定文・否定文・疑問文が使える			まとめと演習	Lesson 11 <ul style="list-style-type: none"> どこに何があるか、どれくらいの量あるか説明する ものの量を具体的に表現する 	
8	Lesson 5 <ul style="list-style-type: none"> 身のまわりのものを持ち主や特徴をたずねる 長さや高さなどについてたずねる 「誰が〜か」「どちらが〜か」をたずねる 	<ul style="list-style-type: none"> 所有代名詞 Whose How + 形容詞? Which 	6	2	Lesson 12 <ul style="list-style-type: none"> 2つのものを比べて違いを説明する 複数のものを比べて違いを説明する 	<ul style="list-style-type: none"> 比較表現 原級を用いた比較 比較級を用いた比較 最上級を用いた比較 疑問詞を用いた比較表現 like A better than B like A the best 	24
	Lesson 6 <ul style="list-style-type: none"> 道案内、相手にやってもらいたいことを伝える 自分ができること、できないことを説明する 	<ul style="list-style-type: none"> 命令文 (一般動詞) 否定命令文など canを用いた文 canを用いた疑問文・否定文 			演習、NEW TREASURE2の学習へ	演習による学習内容の定着化	
9			24	3			18

備考 NEW TREASURE1を学習後は、NEW TREASURE2を学習する。

第 2 学年

教科名	国語	科目名	国語	単位数	4
対象	中学2年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の目標	① 中高一貫校の特色を生かし、詰め込み学習に終わらず、自分自身で考えて知識を増やす取り組みが出来る。 ② 深い思考力・読解力・表現力を身につけていく。その力を各種文芸コンテスト、検定に活かすことが出来る。 ③ 自分の考えをまとめ、他者に分かりやすく文章や発表に表現できる。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストの取り組みで評価。 ② 思考・判断・表現…授業態度、発表用資料作成、課題提出物などで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業への取り組み、発表で評価。				
学習方法	① 様々な教材を用いた先取り学習を行い、論理的な思考と確かな知識を付ける。 ② 学校独自教材や、型にはまらない多角的な国語へのアプローチ方法で生徒の発想と積極性を育てる。 ③ 他者に自分の考えや思いを、正しく分かりやすく伝えることを目指す取り組みを行う。				
教科書・教材等	新しい国語2・3(東京書籍) 中2徹底演習テキスト(受験研究社) キーワードの卵(尚文) 中学書写(学図) 古文単語コア350(旺文社) 古典文法用言徹底ワーク(尚文) 自作テキストなど				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	復習及び発展内容 「鯉節 世界に誇る伝統食」 「小さな労働者」	前年度の復習や発展内容 筆者の主張を的確にとらえ、目的に応じて、文章の形態や展開に違いがあることを理解する。	12	10	「神奈川沖波裏」 古文の復習・基本 「万葉・古今・新古今」	筆者の独特の表現を理解し、絵や写真の内容を文章の形で自分で表現できるようにする。 作品を通し、用言・助動詞を学習する。 それぞれの和歌が詠まれた背景や作者の心情について理解する。	16
5	「哲学的思考のすすめ」 「メッセージをどう聞かか」 「歴史の物差し」 復習及び発展内容	筆者の主張を的確にとらえ、目的に応じて、文章の形態や展開に違いがあることを理解する。	16	11	復習及び発展内容 「清少納言と紫式部」	作品を読むことを通じて、古典に表れたものの見方や考え方を理解する。また、文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の効果について学ぶ。	16
6	「少年の日の思い出」 古文の復習・基本 「平家物語」	場面の展開を捉え、人物や情景を描いた表現に着目して、心情の変化をとらえる。 作品を通し、用言を学習し、助動詞に触れる。 表現の特徴を捉えて本文を繰り返し音読し、内容を読み取り、当時の人々の心情を理解する。	16	12	「二つのアザミ」 「俳句の読み方、味わい方」	詩や俳句の意味や効果的な表現を捉え、読み味わう。また、作品を通し豊かな表現を学び、最終的には生徒同士で作品の相互評価を行う。また、文学史に関する知識の向上と、その覚え方も学ぶ。	12
7	「漢詩」	漢文特有の表現方法を学習し、そこから、当時の人々の生活や物の考え方を理解する。	12	1	復習及び発展内容 「絶滅の意味」 「落語の秘密」	文章の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容を理解し、必要な情報を集め、要約する。	12
8	復習及び発展内容		4	2	古文の復習・基本 「おくのほそ道」 「論語」	作品を通し、用言・助動詞を学習する。 優れた表現や文体の特徴に注意して作品を読み味わい、現代にも通じる古人の考え方を捉える。	16
9	「『正しい』言葉は信じられるか」 「白川郷一受け継がれる合掌造りー」	言語によって表現された事象について、様々な捉え方や表現の可能性を考え、表現の幅を広げる。また、マスメディアからの情報の読み方を考え、多様な考え方を身に付ける。	16	3	「タウン誌の記事を推敲しよう」 「話し合いで問題を検討しよう」 復習及び発展内容	表現力、伝える力を養う。最終的には、ディベート等を通して、実践する。	12

備考 ・適宜、作文・小論文指導を行う。 ・適宜、書写の授業を行う。

教科名	社会	科目名	歴史	単位数	4
対象	中学2年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に各時代の特色をふまえて理解する。 ② 文献史料や資料を活用して多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養う。 ③ 多民族の文化、生活などに関心をもち、国際協調の精神を養う。 ④ 自分の住んでいる地域、道具や生活など身近な対象への歴史に関心をもち、文化や地域を愛する心を培う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査・配信したワークシートなどで評価。 ② 思考・判断・表現…授業内での発言、定期考査、配信したワークシートなどで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業内での発言、定期考査、ワークシート、課題提出物などで評価。				
学習方法	① 教科書記載事項を重視し、熟読をする。 ② 授業で解説や補足説明を受け、ワークシートにまとめる。 ③ ワーク等で復習することにより、知識の定着を図る。 ④ 史料・資料を読んだり、グラフなどを解読したりすることを通して、歴史的事象の因果関係をまとめる。				
教科書・教材等	新しい社会 歴史（東京書籍） ワーク歴史Ⅰ（エデュケーションネットワーク） ワーク歴史Ⅱ（エデュケーションネットワーク）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第1章 歴史へのとびら 第2章 古代までの日本 1 世界の古代文明と宗教のおこり	時代区分、歴史の流れのとらえ方、絵画や史料の読み取りを通し、時代の特色を把握する。 人類の誕生から古代文明の発展までの出来事について、地図資料などを活用しながら理解する。	12	10	第5章 開国と近代日本の歩み 2 欧米の進出と日本の開国 3 明治維新	欧米のアジア進出による江戸幕府の対外政策の転換や、開国による国内の影響について理解する。 明治新政府による各種改革の特徴や、議会政治創始への過程、条約改正交渉について理解する。	16
5	第2章 古代までの日本 2 日本列島の誕生と大陸との交流 3 古代国家の歩みと東アジア世界	大陸の文物や制度を日本が積極的に取り入れながら、天皇中心の政治が整えられたことを理解する。 天皇中心から摂関政治までに至った政治的経緯や、中国文化の受容から国風化へと変化していった過程を理解する。	16	11	第5章 開国と近代日本の歩み 4 日清・日露戦争と近代産業 まとめの活動 第6章 二度の世界大戦と日本 1 第一次世界大戦と日本	日清・日露戦争を通し、日本の国際的地位向上と、近代産業の発展、文化の形成と特徴を理解する。 第一次世界大戦前後の国際情勢及び日本の動き、戦後の国際平和・国際協調体制の特徴を理解する。	16
6	3 古代国家の歩みと東アジア世界 まとめの活動 第3章 中世の日本 1 武士の政権の成立 2 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	古代文明の特徴、日本の古代社会の変化、律令国家の成立とその変化を把握し、理解を深める。 武士の台頭や、院政、武家政権に至る過程を理解する。 武家政権の成立と東アジア諸国の関与、それらを背景とした文化の特徴を理解する。	16	12	第6章 二度の世界大戦と日本 2 大正デモクラシーの時代 3 世界恐慌と日本の中国侵略	識字率向上や護憲運動による国民の政治的自覚の高まりと、職種が増えたことによってもたらされた文化の大衆化について理解する。 世界的な経済の混乱と国内における社会問題の発生について理解する。	12
7	まとめの活動 第4章 近世の日本 1 ヨーロッパ人の出会いと天下統一	摂関政治と武家政権、鎌倉文化と室町文化の特徴と相違について理解を深める。 中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大と、アジアとの交易の様子を理解する。 織豊政権による統一事業や生活文化の展開の過程を理解する。	12	1	第6章 二度の世界大戦と日本 4 第二次世界大戦と日本 まとめの活動 第7章 現代の日本と私たち 1 戦後日本の出発 2 冷戦と日本の発展	軍部の台頭から太平洋戦争に至る経緯と、第二次世界大戦が世界全体に与えた惨禍について理解する。 戦争が世界と日本に与えた影響を説明し、理解を深める。 新しい戦後日本の建設が進められ、日本が発展していく過程を理解する。	12
8	第4章 近世の日本 2 江戸幕府の成立と対外政策	江戸幕府の支配の確立への過程と、初期の対外政策について理解する。	4	2	第7章 現代の日本と私たち 3 新たな時代の日本と世界 まとめの活動	冷戦構造の中で日本が発展できた理由や、国際社会における日本の役割について理解する。 戦後の諸改革が日本に与えた影響や、石油危機が日本に与えた影響を説明し、理解を深める。	16
9	第4章 近世の日本 3 産業の発達と幕府政治の動き・まとめの活動 第5章 開国と近代日本の歩み 1 欧米における近代化の進展	江戸時代に発展した産業・文化・交通の特徴を理解する。 江戸幕府が改革に迫られた経緯、ヨーロッパ社会が日本に与えた影響について理解を深める。 欧米諸国による近代社会の形成と市民革命のかかわりを理解する。	16	3	●歴史の復習・論述	既習範囲を整理把握し、理解を深めるとともに、歴史総合の基礎となる短文論述の活動を通し、歴史的出来事の因果関係を理解する。	12

備考

教科名	数学	科目名	代数	単位数	4
対象	中学2年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 日常の事象(や社会の現象)を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、問題解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を育てる。 ② 数学の事象から(見通しをもって)問題を見だし解決したり、解決の過程や結果を振り返って統合的、発展的に考察する力を育てる。 ③ 数学的な表現を用いて筋道を立てて(論理的に)説明し伝え合う力をつける。				
評価の観点 評価方法	① 「知識・技能」定期テストによる評価 ② 「思考・判断・表現」小テストや定期テストによる評価 ③ 「主体的に学習に取り組む態度」提出物や授業中の取り組みによる評価 ①②が7割程度、③が3割程度、10段階評価				
学習方法	① 教室での授業を基本とし、必ず予習をする。授業の進度はやや速く、演習と復習に時間をかけ既習範囲の定着を図る。 ② 放課後に演習問題、質問などに応じる。習熟が不十分の場合は放課後補習をする。個別の添削を行う。 ③ 宿題プリントはその日のうちに、丸付け、間違いのやり直しをして、提出日を守って提出する。				
教科書・教材等	体系数学2 代数編(数研出版)、体系問題集 数学2 代数編 標準(数研出版) 未来へひろがる 数学3(啓林館)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第1章 式の計算 1. 多項式の計算	単項式と多項式の乗法・除法の計算ができる。 1次式どうしの乗法の計算、及び公式を用いた式の展開ができるようになる。	12	10	2. 2次方程式の利用	2次方程式を用いて実際の問題を解決したり、具体的な場面で活用することができる。	16
5	2. 因数分解 3. 式の計算の利用	因数分解の意味を理解して複雑な因数分解までできるようになる。 式の展開や因数分解を利用して、数量の関係や図形の性質をとらえ、説明することができる。	16	11	第4章 関数 $y=ax^2$ 1. 関数 $y=ax^2$ 2. 関数 $y=ax^2$ のグラフ 3. 関数 $y=ax^2$ の値の変化	事象の中には関数 $y=ax^2$ としてとらえられるものがあることを知り、表、式、グラフを相互に関連付けて理解する。	16
6	第2章 平方根 1. 平方根 2. 根号を含む式の計算	平方根という新しい数の存在を知り、その必要性和意味を理解する。 根号を含む式の計算や変形ができるようになる。	16	12	4. 関数 $y=ax^2$ の利用		12
7	3. 有理数と無理数 4. 近似値と有効数字	有理数と無理数について理解する。 近似値と誤差、有効数字について理解する。	12	1	5. いろいろな関数	グラフが階段状になる関数などについて値の変化を調べたりする。	12
8	問題演習		4	2	第5章 確率と標本調査 4. 標本調査	一部の資料をもとに全体を推定する標本調査に関心をもち、その意味や方法を考えることができるようにする。身近な題材について考察し、標本調査について理解を深める。	16
9	第3章 2次方程式 1. 2次方程式の解き方	2次方程式の必要性和意味、及びその解の意味を理解する。 いろいろな方法で2次方程式を解くことができる。	16	3	まとめ	一年間のまとめとして演習を行い、基礎・基本の定着、応用問題を理解する。	12

備考

教科名	数学	分野名	幾何	単位数	3
対象	中学2年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の目標	① 数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則を理解する。 ② 数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察する能力を高める。 ③ 数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活動する態度を育てる。				
評価の観点 評価方法	① 「知識・技能」定期テストによる評価 ② 「思考・判断・表現」小テストや定期テストによる評価 ③ 「主体的に学習に取り組む態度」提出物や授業中の取り組みによる評価 ①②が7割程度、③が3割程度、10段階評価				
学習方法	① 教室での授業を基本とし、必ず予習をする。授業の進度はやや速く、演習と復習に時間をかけ既習範囲の定着を図る。 ② 放課後に演習問題、質問などに応じる。習熟が不十分の場合は放課後補習をする。個別の添削を行う。 ③ 宿題プリントはその日のうちに、丸付け、間違いのやり直しをして、提出日を守って提出する。				
教科書・教材等	体系数学2 幾何編（数研出版）、体系問題集数学2 幾何編 標準（数研出版） 未来へひろがる数学2、3（啓林館）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第1章 図形と相似 1. 相似な図形 2. 三角形の相似条件	相似な図形についての性質が理解できるようにする。 三角形の相似条件に関心を持ち、三角形が相似になることをいろいろな問題で考えることができるようにする。	9	10	第3章 円 1. 外心と垂心 2. 円周角	円と弦、三角形と外接円の関係を理解し、基本的な定理を使いこなせるようにする。 円周角の定義をきちんと覚え、円周角と中心角についての問題で練習し、円周角の定理を理解し使えるようにする。	12
	3. 平行線と線分の比 4. 中点連結定理	相似な図形の性質を使って、対応する辺の長さや角の大きさを求めることができるようにする。三角形の中点連結定理を、図形の論証に生かすことができるようにする。				3. 円に内接する四角形 4. 円の接線 5. 接線と弦のつくる角	
	5	5. 相似な図形の面積比、体積比 6. 相似の利用	相似な図形の面積比と体積比を理解していろいろな問題を解くことができるようにする。 相似な図形の性質を具体的な場面で利用することができる。	12	11	6. 方べきの定理 7. 2つの円	方べきの定理を理解して、辺の長さを求めたり、図形の性質を証明できるようにする。 2つの円のいろいろな位置関係を理解して、いろいろな問題を解けるようにする。
7	第2章 線分の比と計量 1. 三角形の重心 2. 線分の比と面積比	重心について理解し、証明が出来るようにする。また、その証明した事柄を利用して問題を解くことができるようにする。 平行線と線分の比についての性質を平行線の性質や三角形の相似条件を用いて考察し、証明ができるようにする。	9	1	第4章 三平方の定理 1. 三平方の定理	三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求めたり、特別な直角三角形の性質を利用した問題演習をする。三平方の定理を図形に利用できないか、ここまでで習ったことと三平方の定理を結び付けて解くことができないかを考えて、使えるようにする。	9
	問題演習					2. 三平方の定理と平面図形 3. 三平方の定理と空間図形	
8			3	2	問題演習		12
9	3. チェバの定理 4. メネラウスの定理	三角形の面積と線分の比の関係を利用して定理の証明を考えて理解できるようにする。またこれらの定理を利用して問題を解けるようにする。	12	3	数学A 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 1. 集合の要素の個数	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 集合と要素、集合の表し方、部分集合、共通部分と和集合、補集合など用語と記号の意味を理解し活用できるようにする。	9

教科名	理科	科目名	中学理科	単位数	5
対象	中学2年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するための技能を身に付ける。 ② 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ③ 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	未来へひろがるサイエンス2（啓林館）・未来へひろがるサイエンス3（啓林館） 中学の理科-物理・化学-（教育開発出版）・中学の理科-生物・地学-（教育開発出版）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	エネルギー編② ・電流の性質 ・電流の正体 ・電流と磁界	<ul style="list-style-type: none"> 回路を作って電流の流れ方について学ぶ。 電流と電圧との関係について学ぶ。 電流による発熱量について学ぶ。 静電気による力について学ぶ。 電気の性質について学ぶ。 電流がつくる磁界について学ぶ。 電流が磁界から受ける力について学ぶ。 コイルと磁石で電流を発生させ発電機の仕組みを学ぶ。 	15	10	地球編② ・地球を取り巻く大気のようす ・大気中の水の変化 ・天気の変化と大気の動き ・大気の動きと日本の四季	<ul style="list-style-type: none"> 面に加わる圧力を学ぶ。 気象観測の方法を学ぶ。 雲のでき方を学ぶ。 天気図の読み取り方を学ぶ。 前線の移動と天気の変化のようすを学ぶ。 日本の四季の特徴を学ぶ。 	20
5			20	11	生命編③ ・生物のふえ方と成長 ・遺伝の規則性と遺伝子	<ul style="list-style-type: none"> 無性生殖と有性生殖について学ぶ。 生物の成長と細胞分裂を関連付けて学ぶ。 遺伝子によって形質が親から子へ伝わることを学ぶ。 進化について学ぶ。 	20
6			20	12		<ul style="list-style-type: none"> 進化について学ぶ。 	15
7	物質編② ・物質の成り立ち ・物質の表し方	<ul style="list-style-type: none"> 炭酸水素ナトリウムを加熱してできた物質とそれを確かめる方法を学ぶ。 水に電気を通して発生した気体とそれを確かめる方法を学ぶ。 物質を構成している原子、分子などについて学ぶ。 化学反応式の作り方を学ぶ。 鉄と硫黄の混合物を加熱し別の物質ができることを学ぶ。 酸化・還元について学ぶ。 化学変化の熱の出入りを学ぶ。 化学変化の前後で物質全体の質量はどうなるかを学ぶ。 	15	1	地球編③ ・地球から宇宙へ ・太陽と恒星の動き	<ul style="list-style-type: none"> 太陽の特徴を学ぶ。 太陽系と太陽系外の宇宙について学ぶ。 太陽の1日の動きについて学ぶ。 太陽の1年の動きについて学ぶ。 星の1日の動きについて学ぶ。 星の1年の動きについて学ぶ。 月の満ち欠けについて学ぶ。 金星の動きを学ぶ。 	15
8	・さまざまな化学変化 ・化学変化と物質の質量		5	2	・月と金星の動きと見え方		20
9			20	3			15

備考

教科名	音楽	科目名	音楽	単位数	1
対象	中学2年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 ② 楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創造的に表現する能力を高める。 ③ 音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く鑑賞する能力を高める。				
評価の観点 評価方法	① 自己のイメージをもち、感性を働かし、創造的で個性豊かに技能を身に付けている。 ② 音楽文化に対する総合的な理解を深め、そのよさや美しさを個性豊かに味わう。 ③ 音楽文化を愛好・尊重し、個性豊かに意欲的・主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わう。				
学習方法	① 腹式呼吸による豊かで自然な発声を身につける。 ② ギターの基本演奏を学ぶ。 ③ 楽典の基礎を学び、視唱(奏)力を付ける。 ④ 作品の時代背景、曲のスタイル、他の芸術とのかかわりを理解し、芸術全体のなかの音楽について学ぶ。				
教科書 教材等	中学生の音楽2・3上(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)ほか				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	「浜辺の歌」 「荒城の月」 「サンタ ルチア」	<ul style="list-style-type: none"> 腹式呼吸を基本とした豊かな発声を身に付ける。 基本的な発声に加え、混声合唱としての響きの美しさを聴き合い、のびのびと楽しく表現出来るようになる。 	3	10	「アニーローリー」 「威風堂々」 * 9月の内容の継続	<ul style="list-style-type: none"> サミングを覚え、無理なく美しい高音域をだせるようにする。 	4
5	「エーデルワイス」 「さくら さくら」 「メヌエット」 Am, E 7, C, G 7 コード	<ul style="list-style-type: none"> ギターによる独奏・合奏を行う。 1年次に身に付けた技術を伸張する。また、コードによる伴奏を加え、合奏する。 	4	11	オペラ ポピュラー音楽 文楽 歌舞伎 世界の諸民族の音楽	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞を行う。 西洋音楽に偏ることなく、幅広い音楽観を身に付ける。 	4
6			4	12			3
7			3	1	和楽器の種類と歴史を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 和楽器による演奏を行う。 わが国の伝統的な音楽文化の良さに気づき、尊重する心を育てる。 	3
8	「アニーローリー」 「威風堂々」	<ul style="list-style-type: none"> Aリコーダーによる独奏・合奏を行う。 サミングを覚え、無理なく美しい高音域をだせるようにする。 	1	2	「夢の世界を」 「夏の日の贈り物」 「翼をください」 「卒業式関連唱歌」	<ul style="list-style-type: none"> 混声合唱の調和を目指す2～3部合唱を行う。 	4
9			4	3			3

備考: 曲目は変更される場合があります

教科名	美術	科目名	美術	単位数	1		
対象	中学2年	履修形態	必修	授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てる。 ② 感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、豊かな情操を養う。						
評価の観点 評価方法	① 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。(美術への関心・意欲・態度) ② 感性や想像力を働かせて豊かに発想し、よさや美しさなどを考え心豊かで創造的な表現の構想を練っている。(発想や構想の能力) ③ 感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付け、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。(創造的な技能)						
学習方法	個人制作と、一斉授業。						
教科書・教材等	美術2・3(上)(日文)、美術資料(秀学社) 水彩用具、スケッチブック、美術資料など						
年 間 授 業 計 画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	観察し、スケッチする。	見方を変えて、見慣れた風景の思いがけないよさや美しさを発見し、表現する。	3	10	木工芸の作品を制作する。 *9月の内容の継続	手作りの良さを生かして、生活に潤いや彩りを与えるものをつくる。	4
5			4	11	ふるさとの良さをポスターに表現する。	伝えたいことや訴えたいことを工夫しながら表現する。	4
6	モダンテクニックを用いて表現する。	材料の特性を生かし、表し方を工夫して、独自の世界を創造する。	4	12			3
7			3	1	鑑賞する。	日本の浮世絵とヨーロッパ美術を鑑賞することで、それぞれの影響や独自性を理解する。	3
8			1	2			4
9	木工芸の作品を制作する。	手作りの良さを生かして、生活に潤いや彩りを与えるものをつくる。	4	3			3

備考

教科名	保健体育	分野名	保健体育	単位数	3
対象	中学2年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。				
評価の観点 評価方法	① 忘れ物や提出物などを含め、授業を通して自らを高めようとする意欲・関心・態度を評価する。 ② 各競技の技能を実技テストによって総合的に評価する。 ③ 各学期ごと、自己の振り返り、努力・工夫したことを思考・判断として総合的に評価する。				
学習方法	① 集団行動 ② 基礎的・合理的な運動の実践 ③ 教科書・資料を用いた学習				
教科書・教材等	必要に応じて視聴覚教材 中学校保健体育（大修館書店）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	体づくり運動 ※体育理論 運動やスポーツの学び方	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身につけ、組み合わせることができる。 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。	9	10	武道（剣道）	技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする。 相手の動きに応じた基本動作から基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの攻防を展開する。	12
5	陸上競技	記録の向上や競技の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率の良い動きを身につける。 積極的に取り組むと共に、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、健康・安全に気を配ることが出来る。 特性や成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、取り組み方を工夫できる。	12	11	器械運動（マット/跳び箱）	技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。 マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技で、発展技を行うこと、それらを組み合わせること。 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと。	12
6			12	12	※傷害の防止	傷害の防止について理解を深めることができる。	9
7	ソフトボール	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できる。 ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開する。	9	1	バレーボール	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できる。 ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開する。	9
8	※健康と環境	健康と環境について理解できる。	3	2	卓球 ダンス（約4時間）	感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流ができる。	12
9	水泳（約2時間）	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身につけることができるようにする。	12	3			9

備考

教科名	技術・家庭	分野名	技術分野	単位数	1
対象	中学2年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 生活と技術についての基礎的に理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身に付けるようにする。 ② 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 ③ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。				
評価の観点 評価方法	① 関心・意欲・態度・・・授業態度、作品提出物などで評価 ② 知識・理解・・・ノート、発表、レポート ③ 表現・思考・判断・・・授業への取り組み、発表、作品、提出物で判断				
学習方法	① 作品の製作・完成を通して学ぶ方針で、実習や作業を中心とする。また、教科書だけではなくICT機器などを利用して知識と技術を習得する。				
教科書・教材等	技術・家庭 技術分野 (教育図書株式会社)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	<情報> 情報とわたしたちの生活 1. コンピュータのしくみと基本操作	情報の検索など、パソコンを活用し、情報収集能力をつける。	3	10	<電気> 制作・発表 ラジオ制作 発電のしくみ 電気部品について	電気について興味・関心を持つ。 計画を立て、実際に制作できるようにする。	4
5	2. コンピュータの利用 3. 情報通信ネットワークの利用 4. マルチメディアの活用	電気について興味・関心を持つ。 計画を立て、実際に制作できるようにする。	4	11	<電気> 制作・発表 ラジオ制作 発電のしくみ 電気部品について	電気について興味・関心を持つ。 計画を立て、実際に制作できるようにする。	4
6	5. プログラミングと計測制御 6. 情報社会と自己責任		4	12	<電気> 制作・発表 ラジオ制作 発電のしくみ 電気部品について	電気について興味・関心を持つ。 計画を立て、実際に制作できるようにする。	3
7	<電気> 電気と私たちの生活 1. 電気のしくみを調べよう 2. 電気製品の仕組みを知ろう	電気について興味・関心を持つ。 計画を立て、実際に制作できるようにする。	3	1	<情報> パワーポイントでスライド作成をする 表計算のシートを作成する	上手くパソコンを利用する。 パワーポイントを利用する。 インターネットを利用する。 エクセルを利用する。 情報について興味・関心を持つ。	3
8	3. 電気を使った製品を制作	電気について興味・関心を持つ。 計画を立て、実際に制作できるようにする。	1	2	プログラミングについて 1. BASICの命令 2. 計算プログラム 3. グラフィック機能	プログラミング言語 BASICにふれプログラミングができるようにする。	4
9	<電気> 制作・発表 ラジオ制作 発電のしくみ 電気部品について	電気について興味・関心を持つ。 計画を立て、実際に制作できるようにする。	4	3	4. 絵を描くプログラム 5. ゲームを作ってみよう	BASIC以外のプログラミング言語にふれるようにする。 scratchによるプログラミングにふれプログラムの仕組みを理解する	3

備考

教科名	技術・家庭	分野名	家庭分野	単位数	1
対象	中学2年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得する。 ② 家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をより良くしようとする能力と態度を身につける。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…実習への取り組み、実技試験やワークシートなどをもとに評価する。 ② 思考力・判断力・表現力…ワークシートなどをもとに評価する。 ③ 主体的学習に取り組む態度…実習への取り組み、作品制作過程シートなどをもとに評価する。				
学習方法	① 教室での一斉授業や、実験を通して内容を理解する。 ② 被服実習などの実習により、体験の中で実践的な態度を身につけていく。				
教科書・教材等	『技術・家庭 家庭分野』（教育図書） 基礎縫いクラッチバッグ（クロッサム）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	C 衣生活・住生活と自立 第2章 わたしたちの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活の自立」とは何かを考える。 ・自立するための課題を把握する。 ・手入れや補修の必要性を理解し、衣服材料に応じた方法を知る。 	3	10	第3章 生活を豊かにする工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・被服のリメイクを通して、環境にやさしい衣生活について理解する。 ・生地の特徴に合わせた縫製や加工ができる。 	4
5	第3章 生活を豊かにする工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の基本的な構成を理解する。 ・衣服の製作の手順を知り、計画をたてる。 ・衣服の製作に必要な材料や用具を準備し、布製品の製作ができる。 	4	11			4
6		<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の製作に必要な材料や用具を準備し、布製品の製作ができる。 	4	12	第1章 わたしたちの住生活	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割について考える。 ・健康で心地よく住むための室内環境の条件や、家庭内の事故とその原因について知り、改善の方法を考える。 	3
7		<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の製作に必要な材料や用具を準備し、布製品の製作ができる。 	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・家族が心地よく住むためにできることを考える。 ・快適に住む部屋作りの立体模型造りを通し、住まい作りの意義を考える。 	3
8		<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の製作に必要な材料や用具を準備し、布製品の製作ができる。 	1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・快適に住む部屋作りの立体模型造りを通し、住まい作りの意義を考える。 	4
9		<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の製作に必要な材料や用具を準備し、布製品の製作ができる。 	4	3	D 身近な消費生活と環境 第1章 わたしたちの消費生活	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な物資やサービスの選択・購入・活用について知る。 ・消費者を取り巻く問題から消費者の権利と保護を知る。 	3

教科名	外国語	科目名	英語	単位数	7
対象	中学2年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 英語を聞くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。 ② 英語を話すことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを表現することができるようにする。 ③ 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解することができるようにする。 ④ 英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを文章にすることができるようにする。				
評価の観点 評価方法	① 4技能（読む・書く・聞く・話す）のための知識と技能を身につけているかという観点で、定期考査、実力テスト、小テストなどによる評価を行う。（知識・技能） ② 学習した知識や技能を活用できているかという観点で、定期考査、実力テスト、授業時における英語活動などによる評価を行う。（思考・判断・表現） ③ 異文化理解や英語を用いてのコミュニケーションへの主体的な取り組みという観点で、授業や課題への取り組み、提出物などによる評価を行う。（主体的に取り組む態度）				
学習方法	① 予習で新出単語の意味を確認し、本文の概要を理解する。 ② 教科書の本文の内容を理解する上で必要な文法事項、語法を学習する。 ③ 本文の内容を理解した上で、一斉音読やペアリーディング等を繰り返し行う。 ④ 演習を通して、学習事項の定着を図る。				
教科書・教材等	教科書 NEW TREASURE STAGE2(Z会)、NEW TREASURE STAGE3(Z会) 副教材 NEW TREASURE STAGE2 文法問題集(Z会)、NEW TREASURE STAGE3 文法問題集(Z会)、 NEW CROWN 2 (三省堂)、速読英単語 入門編 (Z会)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	Lesson 1 ・接続詞を使った文で物事を説明する ・感嘆文で驚きを伝える	・接続詞 and, but, or, when ・感嘆文	21	10	Lesson 7 過去にしたことや過去の状態を、現在と結び付けて表現する	現在完了 ・完了・結果を表す現在完了 ・経験を表す現在完了 ・継続を表す現在完了	28
	Lesson 2 ・条件や理由を添えて説明する ・勧誘したり申し出をしたりする	・接続詞 if, because, though, that ・Shall I~? Will you ~? have to ~			Lesson 8 さまざまな名詞を用いる	名詞/不定代名詞/再帰代名詞 ・名詞の種類 ・不定代名詞 ・再帰代名詞	
5	Lesson 3 英文を構成する4つの要素を正しく組み合わせる	・SV ・SVC ・SVO ・SV00 ・SVOC	28	11	Lesson 9 名詞をよりくわしく説明する	後置修飾/分詞による修飾 ・前置修飾と後置修飾 ・分詞の形容詞的用法	21
	Lesson 4 ・自分がやりたいことや好きなことを伝える ・動作の目的を伝える	・名詞用法の不定詞 ・副詞用法の不定詞 ・形容詞用法の不定詞			Lesson 10 ものや人の特徴や様子を説明して名詞を限定する	関係代名詞 ・主格の関係代名詞 ・目的格の関係代名詞 ・thatが好まれる場合/否定疑問	
6	Lesson 5 自分の趣味や興味のあることを伝える	動名詞 ・主語・補語になる動名詞 ・目的語になる動名詞 ・不定詞と動名詞/慣用表現	21	1	Lesson 11 不定詞を用いたさまざまな表現を使う	不定詞の発展的用法 ・It~(for-) to... ・SV0+to... ・疑問詞+to... ・too~ to.../~enough to...	28
	Lesson 6 誰かにされたことを表現する	受動態 ・受動態の文 ・受動態の疑問文 ・by以外の前置詞 ・SV00/SVOCの受動態			Lesson 12 相手に確認したり、驚きを伝えたりする	比較/間接疑問/付加疑問/感嘆文 ・比較の文の書きかえ/倍数表現 ・間接疑問 ・付加疑問 ・感嘆文	
7			28	3			21

備考 NEW TREASURE2を学習後は、NEW TREASURE3を学習する。

第 3 学年

教科名	国語	科目名	国語	単位数	5(1)
対象	中学3年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の目標	① 中高一貫校の特色を生かし、詰め込み学習に終わらず、自分自身で考えて知識を増やす取り組みが出来る。 ② 深い思考力・読解力・表現力を身につけていく。その力を各種文芸コンテスト、検定に活かすことが出来る。 ③ 自分の考えをまとめ、他者に分かりやすく文章や発表に表現できる。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストの取り組みで評価。 ② 思考・判断・表現…授業態度、発表用資料作成、課題提出物などで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業への取り組み、発表で評価。				
学習方法	① 様々な教材を用いた先取り学習を行い、論理的な思考と確かな知識を身につける。 ② 学校独自教材や、型にはまらない多角的な国語へのアプローチ方法で生徒の発想と積極性を育てる。 ③ 他者に自分の考えや思いを、正しく分かりやすく伝えることを目指す取り組みを行う。				
教科書・教材等	新しい国語3(東書) 中学書写(学図) さくらさく古文単語(浜島) 現代文グレートラーニング40レベル2(尚文) キーワードの卵(尚文) 駿台古典文法ドリル古文基本編(駿台) プレミアムカラー国語便覧(数研) 古典グレートラーニング48レベル1(尚文) など				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	「黄金の扇風機」 「サハラ砂漠の茶会」 「おくのほそ道」 ・古文の復習・基本	文章を読み比べながら、論の進め方や表現について理解し、自分の考えを持てるようにする。 優れた表現や文体の特徴に注意して作品を読み味わい、現代にも通じる古人の考え方を捉える。また、作品を通し、用言・助動詞を理解する。	15	10	「水の東西」 「まずは形から」 「宇治拾遺物語」 ・児のそら寝	日本の文化に関する文章を読み、文化・習慣の違いを対比しながら認識する。また、要約力を高める。 昔の言葉と現代の言葉とのつながりを理解する。また、作品を通して、助動詞・敬語を理解する。	20
5	「万葉・古今・新古今」 「何のために働くのか」	それぞれの和歌が詠まれた背景や作者の心情について理解する。また、作品を通し、表現技法を理解する。 文章の論理の展開の仕方を的確に捉え、内容を理解し、必要な情報を集め、要約する。	20	11	「漁父之利」 復習及び発展内容	作品を通し、漢文の句法を学ぶ。また、繰り返し読み味わい文章内容を理解する。	20
6	「いつものように新聞が届いた」 古文：主語把握	東日本大震災における悲惨な状況を見聞きし、考えを深め、次世代に繋げる。また、言葉の力を理解し、情報の意義とメディアの役割について考えを深める。内容を理解し、要約できるようにする。	20	12	「自然と人間の関係をと おして考える」	また、「自然と一」では、論理の展開を理解し、自然と人間の関係に対する主張を読み取る。さらに、二つの作品を通して、要約力を向上させる。	15
7	漢文の基本 「論語」 復習及び発展内容	作品を通し、漢文の基本を学ぶ。また、繰り返し読み味わい、漢文のリズムを感じる。	15	1	復習及び発展内容 「蛇足」	作品を通し、漢文の句法を学ぶ。また、繰り返し読み味わい文章理解を深める。	15
8	「百科事典少女」 「尋ね合い」	文学作品を読み、人間や社会について考える。また、登場人物の心の動きを捉え、正確に理解する。	5	2	「動的平衡としての生物多様性」	生物多様性と動的平衡についての考えを、様々な例を踏まえつつ読み取る。	20
9	「鏡」 古典の魅力 「鼠の婿取り」	小説を読み味わい、描かれた人間の生き方や場面・心情の変化を表現に即して読み味わう。 当時の世界観を感じる。また、作品を通し、用言を復習し、助動詞の理解を深める。	20	3	「今昔物語集」 ・阿蘇の史、盗人にあひてのがること 復習及び発展内容	昔の言葉と現代の言葉とのつながりを理解すると共に、古典作品と近現代の作家・文学作品のつながりも理解する。また、作品を通して、古文文法の総まとめ、敬語の総まとめを行い、知識を深める。	15

備考 ・適宜、作文・小論文指導を行う。 ・適宜、書写の授業を行う。

教科名	国語	科目名	現代の国語	単位数	5(2)
対象	中学3年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理・共感・想像の力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高める。 ② 深い思考力・読解力・表現力を身につけていく。その力を各種文芸コンテスト、検定に活かすことができる。 ③ 論理的思考力を養う文章、実社会に必要な文章を基に考えをまとめ、他者に分かりやすく表現できる。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストの取り組みで評価。 ② 思考・判断・表現…授業態度、発表用資料作成、課題提出物などで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業への取り組み、発表で評価。				
学習方法	① 様々な教材を用いた先取り学習を行い、論理的な思考と確かな知識を身につける。 ② 学校独自教材や、型にはまらない多角的な国語へのアプローチ方法で生徒の発想と積極性を育てる。 ③ 他者に自分の考えや思いを、正しく分かりやすく伝えることを目指す取り組みを行う。				
教科書・教材等	現代の国語（大修館） 現代文グレートラーニング40レベル2（尚文） キーワードの卵（尚文）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	「白紙」 「伝える・伝え合う」	文章を読み論の進め方や表現について理解し、自分の考えを持てるようにする。 他者と意見を交わし、思考を膨らませることの基本を学ぶ。	15	10	「言葉についての新しい認識」 「社会への視点②」 さまざまな広告	言語文化に関する文章を読み、文化・習慣の違いを対比しながら認識する。また、要約力を高める。 社会に溢れる様々なメッセージを正しく解釈する。	20
5	「水の東西」 わかりやすく書く	文章の論理の展開の仕方を的確に捉え、内容を理解し、必要な情報を集め、要約する。 他者に意見を伝える際の文章のまとめ方を学ぶ。	20	11	「贅沢を取り戻す」 復習及び発展内容	本文から、現代社会の抱える問題点を掴み課題解決の道を模索する力を養う。 全国模試の対策を行う。	20
6	「『安くておいしい国』の限界」 「社会への視点①」 さまざまな規約	筆者の問題提起とその論拠について自分の意見をまとめる。 広い視野を持ち現代社会を捉える。	20	12	「作業ロボットの悲劇」 復習及び発展内容	論理の展開を理解し、主張を読み取る。また、主体的に論理的な文章に触れ合う習慣を身につけ、他者に内容を伝える力を養う。 全国模試の対策を行う。	15
7	「美しさの発見について」 「脳は美をどうとらえるか」	情報を比較しながら、文章を読むことができるようになる。	15	1	「インターネット時代の音楽産業」 復習及び発展内容	統計資料を基に自分の意見を他者に伝えることができるようになる。また、説得力を持った論を展開するための資料作りができるようになる。 全国模試の対策を行う。	15
8	復習及び発展内容		5	2	入試問題演習①	共通テストや大学入試の過去の問題を解き進めることで、培った自分の国語の力を発揮できるようにする。	20
9	「空気を読む」 「『個人』から『分人』へ」	評論の内容を吟味し、描かれた内容に対する捉え方の変化を読み味わう。 筆者の意見に対して自分の考えを持ち、文章に表現できるようにする。	20	3	入試問題演習②	共通テストや大学入試の過去の問題を解き、自分の課題や伸ばしたい能力について考える。その後、国語を学ぶ計画を立てることが出来る。	15

備考 ・適宜、作文・小論文指導を行う。 ・適宜、書写の授業を行う。

教科名	国語	科目名	言語文化	単位数	5(2)
対象	中学3年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の目標	① 上代から現代に亘る作品世界を正確に理解し、的確に処理し、豊かに表現できる力を養う。 ② 現代文学・古典文学への関心を高めるとともに、思想・思考の幅を広げ心情を豊かに育む。 ③ 表現技法や古典文法を学びながら言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストなどで評価。 ② 思考・判断・表現…定期考査、課題提出物、提出レポートや発表資料などで評価。 ③ 主体的に学習に取り組む態度…授業への取り組み、発表、探究学習などで評価。				
学習方法	① 知識の定着に努め、様々な作品に触れその特徴を理解した上で世界観の正確な把握を目指す。 ② 教科書・図説・関係資料等を用い、文法を根幹とした読解力を身に付け、古典に対する興味を喚起する。 ③ 発表資料作成や受験対策問題集等を用い、受験レベル問題の解法、古典の探究・文学作品批評など幅広く学ぶ。				
教科書・教材等	言語文化（大修館） さくらさく古文単語（浜島） 古典グレートラーニング48レベル1（尚文） 古典文法10題ドリル古文基礎編（駿台文庫） 自作テキストなど				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	復習及び発展内容 古文：「宇治拾遺物語」 ・田舎の児、桜の散るを見て泣くこと ・絵師良秀	表現の特徴を学ぶとともに古文の世界観を感じる。また、古典文法の助動詞を中心に理解を深めていく。	15	10	古文：「方丈記」 ・行く河の流れ 古文：「伊勢物語」 ・初冠 ・月やあらぬ	作者の思想の基調や世界観をはじめ、対句表現や比喻などの修辞技巧を理解し、的確な描写とその表現効果について考える。 歌物語の特徴の一つである和歌や表現技巧を理解する。また、当時の人々の生き方や文化、考え方などについて認識を深める。	20
5	漢文：「蛇足」（戦国策） 「鶏鳴狗盗」（十八史略） 「臥薪嘗胆」（十八史略）	漢文調の文体や寓意的な表現に注意しながら内容を捉え、人物や思想、背景などを理解させる。句法や語法を習得する。故事成語の意味や日本への影響を理解する。 作品の構成・展開・表現技法を学ぶとともに、作品を通して、当時の人々の考え方を学ぶ。	20	11	古文：「土佐日記」 ・門出 ・帰京 小説：「セメント樽の中の手紙」	日記の形式や、文体、意図を理解し、作者の心情を味わって読む。また、表現や修辞法、文体等の特色を理解する。 時代背景と登場人物との関係を理解したり、会話文や手紙から登場人物の状況や心情を理解する。	20
6	小説：「羅生門」 古文：「今昔物語集」 巻第二九第一八	小説を読み味わい、描かれた人間の生き方や場面・心情の変化を表現に即して読み味わう。古の時代の人々が見聞した世界観を感じると共に、学び、活かせるようにする。また、古典文法・表現について理解を深めていく。	20	12	漢詩：・送汪倫 ・送元二使安西 ・過故人莊 ・月夜 ・香炉峰下 復習及び発展内容	唐代の詩人たちの人生観や自然観の認識を深め、漢詩独特の口調を修得する。また、近体詩の形式や表現等の技法を理解する。	15
7	短歌：十二首 俳句：十五句	俳句・短歌に興味をもち、作品内の情景や心情を読み味わう。また、自分の作品を仕上げ、俳句・短歌の大会への応募を叶える。	15	1	古文：「更級日記」 ・あこがれ	京や作品などへの強い憧れを抱く作者の心情を理解する。また、女流日記文学や作者について概要を理解する。	15
8	復習及び発展内容		5	2	漢文：雑説（韓愈）	当時の思想を読み解き、風刺に注意しながら内容を捉え、自然観・社会性・当時の人の考え方を感ずる。また、句法を習得する。	20
9	小説：「青が消える」 漢文：「故事成語」 ・画竜点睛 ・糟糠之妻 ・塞翁馬	我が国の言語文化への理解につながる読書の意義とその効用について理解を深める。 故事成語の叙述のおもしろさや意味の成り立ちを理解し、用法に慣れる。また、漢文の句法を習得する。	20	3	復習及び発展内容		15

備考 ・副教材を活用した問題演習も、授業中に行う。

教科名	社会	科目名	公民・公共	単位数	3
対象	中学3年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 日本の政治経済のしくみが理解できる。 ② 社会の一員として生活していく自覚を芽生えさせる。 ③ 習得した見方・考え方を働かせる活動を通し、主体的に生きる公民としての資質・能力を身につける。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、配信して入力したワークシートをもとに評価する。 ② 思考・判断・表現…授業内の態度、発言や発表、定期考査、ワークシートをもとに評価する。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業態度、発表、ワークシートをもとに評価する。				
学習方法	① 予習と教室での授業を基本とし、解説・補足説明をまとめ、基本事項をおさえる。 ② 副教材等で知識の定着をはかる。 ③ 各単元で設定されている問いに、これまでの知識や基本事項をふまえて答える。				
教科書・教材等	新しい社会 公民（東京書籍） 公共（東京書籍） 公共ワークノート（東京書籍）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	[公民] 第1章 わたしたちの生活と現代社会 1 現代社会とわたしたちの生活 2 わたしたちの生活と文化 3 社会の見方や考え方	現代社会の特色であるグローバル化、情報化、少子高齢化などが、政治、経済、国際関係に影響を与えていることを理解する。 日本の特色ある文化を調べ、文化の意義について理解する。 対立と合意、効率と公正などの見方、考え方を理解する。	9	10	[公民] 第4章 わたしたちのくらしと経済 1 くらしと経済 2 生産と労働	消費者の権利と契約、消費者問題、流通の役割について理解する。 企業の働きや株式会社のしくみ、現代の企業の特色と課題を理解する。	12
5	第2章 人間の尊重と日本国憲法 1 人権と日本国憲法 2 人権と共生社会 3 これからの人権保障	日本国憲法の基本原理を、具体的な生活との関わりから理解する。 個人の尊厳と両性の本質的平等、自由・権利と責任・義務の関係が社会生活の基本であることを理解する。	12	11	3 価格の働きと金融 4 国民生活と福祉	生産資源を効率よく配分する価格の働きや、金融機関が持つ役割を理解する。 国民生活と福祉の向上を図るための政府の役割を理解する。	12
6	第3章 現代の民主政治と社会 1 現代の民主政治 2 国の政治のしくみ 3 地方の政治と自治	政治や議会制民主主義の意義や基本的な考え方について理解する。 国会・内閣・裁判所の仕組みと働きについて理解する。 住民自治を基本とする地方自治の考え方や、地方公共団体の政治の仕組みについて理解する。	12	12	[公共] 第3章 経済社会で生きる私たち	経済主体と経済循環について、実際の経済事象と関連付けて理解する。 市場の働きと限界、財政のしくみや社会保障の意義と現状について実際の事象と関連づけて理解する。	9
7	[公共] 第1部第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 第3章 公共的空間における基本的原理	ベンサム功利主義・ミルの内的強制力、カントの義務論などの特徴を理解する。 民主主義・法の支配の意義や、人間の尊厳と平等における歴史的展開を理解する。	9	1	[公共] 第4章 私たちの職業生活 [公民] 第5章 地球社会とわたしたち 1 国際問題と世界平和 2 国際問題とわたしたち	働くことの意義・労働市場の役割、キャリア形成の課題を理解する。 国際社会が抱える様々な課題と解決の取り組みを理解する。 国際問題解決のための経済的・技術的協力について理解する。	9
8	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	地方自治・国会・内閣の役割と権限を、実際の政治事象を手がかりにして理解する。	3	2	[公共] 第5章 国際社会の中で生きる私たち	国際法の意義と役割・集団安全保障のしくみなどを理解する。 冷戦後の世界の諸問題への取り組みを理解する。 比較生産費説や国際金融の動向について実際の経済的事象と関連づけて理解する。	12
9	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち 第2章 法の働きと私たち	行政の肥大化、日本の選挙制度や政党の課題、ネット時代の世論形成のしくみを理解する。 社会規範上の法の特徴、裁判にお法の適応と解釈、私法の三原則を理解する。 司法権の成立過程や、違憲審査制について実例をもとに理解する。	12	3	第1章 公共的な空間をつくる私たち	青年期の特徴や発達過程について理解する。 日本・世界の思想家の考え方や、「公」と「私」のとらえ方を理解する。	9

備考

教科名	数学	科目名	代数(数Ⅰ)	単位数	4
対象	中学3年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理できる技能を身につける。 ② 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 ③ 数学の良さを認識し積極的に数学を活用する態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
評価の観点 評価方法	① 「知識・技能」定期テストによる評価 ② 「思考・判断・表現」小テストや定期テストによる評価 ③ 「主体的に学習に取り組む態度」提出物や授業中の取り組みによる評価 ①②が7割程度、③が3割程度、10段階評価				
学習方法	① 授業の進度はやや速く、復習に時間をかけ既習範囲の定着を図る。 ② 教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらえ説明が書けるよう心がける。 ③ 大学入試問題など複雑な問題に取り組み、解答に繋がる方針を立てていくことで、思考力を養う。				
教科書・教材等	高等学校 数学Ⅰ (数研出版)、未来へひろがる数学3 (啓林館) 4 STEP 数学Ⅰ+A(数研出版)、チャート式基礎からの数学Ⅰ+A(数研出版)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	<数学Ⅰ> 第1章 数と式 第1節 式の計算 1. 整式の加法と減法 2. 整式の乗法	展開の公式を利用できるようにする。式の形の特徴に着目して変形し、展開の公式が適用できるようにする。	12	10	第2節 2次関数の値の変化 3. 2次関数の最大・最小 4. 2次関数の決定	関数の値の変化をグラフから考察でき、2次関数が最大値、最小値を持つことを理解し、それを求めることができるようにする。様々な条件を満たす2次関数の方程式を求めることができるようにする。	16
5	3. 因数分解 第2節 実数 4. 実数 5. 根号を含む式の計算 第3節 1次不等式 6. 不等式の性質	因数分解の公式を利用できるようにする。また、式の形の特徴に着目して変形し、因数分解の公式が適用できるようにする。 不等式の性質を理解し、文章題を立式し解けるようにする。	16	11	第3節 2次方程式と2次不等式 5. 2次方程式 6. 2次関数のグラフとx軸の位置関係 7. 2次不等式	2次関数について理解し、関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを具体的な事象の考察や2次不等式を解くことなどに活用できるようにする。	16
6	7. 1次不等式 8. 絶対値を含む方程式・不等式 第2章 集合と命題 1. 集合	絶対値の意味を理解し、絶対値を用いた方程式と不等式が解けるようにする。 図表示などを用いて、集合についての基本的な事項を理解できるようにする。	16	12	2次関数 既習範囲の演習	既習範囲の演習を行い定着を図る。	12
7	2. 命題と条件 3. 命題と証明	命題を論理的に考えることで、真偽の判断ができるようにする。また、間接証明法を用いて、命題を証明できるようにする。	12	1	第5章 データの分析 1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばりと四分位数 4. 分散と標準偏差 5. データの相関	統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを分析・整理し、傾向を把握できるようにする。四分位数、分散及び標準偏差などの意味について理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し、説明できるようにする。	12
8	集合と命題の演習	既習範囲の演習を行い定着を図る。	4	2	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算 1. 3次式の展開と因数分解 2. 二項定理 3. 整式の割り算 4. 分数式とその計算 5. 恒等式	整式の乗法・除法及び分数式の四則計算ができるようにする。	16
9	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 1. 関数とグラフ 2. 2次関数のグラフ	グラフの平行移動を利用して、いろいろな2次関数のグラフがかけられるようにする。	16	3	第2節 等式・不等式の証明 6. 等式の証明 7. 不等式の証明	等式・不等式の証明ができるようにする。	12

備考

教科名	数学	科目名	幾何(数A)	単位数	3
対象	中学3年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則を理解する。 ② 数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察する能力を高める。 ③ 数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方の良さを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。 ④ 数学に興味・関心を持ち、意欲的に取り組む姿勢を養う。				
評価の観点 評価方法	① 「知識・技能」定期テストによる評価 ② 「思考・判断・表現」小テストや定期テストによる評価 ③ 「主体的に学習に取り組む態度」提出物や授業中の取り組みによる評価 ①②が7割程度、③が3割程度、10段階評価				
学習方法	① 教室での授業を基本とし、予習を行い、授業の進度はやや速く、復習に時間をかけ既習範囲の定着を図る。 ② 放課後に演習問題、質問に応じる。 ③ 個人添削を行う。				
教科書・教材等	高等学校 数学A(数研出版)、数学I(数研出版)、未来へひろがる数学3(啓林館) 4STEP 数学I+A(数研出版)、チャート式基礎からの数学I+A(数研出版)				

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 1. 集合の要素の個数 2. 場合の数 3. 順列 4. 組合せ	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	9	10	第2節 三角形への応用 4. 正弦定理 5. 余弦定理	角の大きさなどを用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。 三平方の定理から余弦定理を導くことができる。また、三角形の形状を考察できるようにする。	12
5	第2節 確率 5. 事象と確率 6. 確率の基本性質	確率の意味を理解し基本的な確率の計算ができるようにする。 確率の基本性質を理解し余事象の確率など、基本的な確率の計算ができるようにする。	12	11	6. 正弦定理と余弦定理の応用	余弦定理や正弦定理を用いて、三角形の残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。	12
6	7. 独立な試行と確率 8. 条件付き確率	独立な試行について理解し、そのさまざまな確率を求めることができるようにする。 条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心を持ち、積極的に活用しようとする。また、条件付き確率を用いて頻度確率(原因の確率)を求めることができる。	12	12	7. 三角形の面積 8. 空間図形への応用 問題演習	三角比を用いた三角形の面積公式を理解している。 正弦定理、余弦定理を空間図形の計量に応用できる。	9
7	9. 期待値	期待値を求めて、結果が不確実な状況下において、その選択が有利かを判断する際の基準として利用することができる。	9	1	<数学A> 第3章 整数の性質 1. 約数と倍数 2. 素数と素因数分解 3. 最大公約数・最小公倍数	約数と倍数、最大公約数、最小公倍数の理解を図る。	9
8	<数学I> 第4章 図形と計量 第1節 三角比 1. 三角比	直角三角形において、正弦・余弦・正接を求めることができ、応用問題に利用できる。	3	2	4. 整数の割り算 5. ユークリッドの互除法 6. 1次不定方程式	割り算の商、余りの関係を理解する。 互除法の原理を理解し、互除法を用いて最大公約数を求めることができる。	12
9	2. 三角比の相互関係 3. 三角比の拡張	三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値を求められる。 拡張された三角比を利用して、座標平面上に図示して考察することができる。	12	3	7. 記数法 8. 座標の考え方	整数の性質を理解し、活用できるようにする。また、n進法を学ぶことにより位取りを理解する。	9

備考

教科名	理科	科目名	理科	単位数	5(3)
対象	中学3年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するための技能を身に付ける。 ② 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ③ 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	未来へひろがるサイエンス1(啓林館)・未来へひろがるサイエンス2(啓林館) 未来へひろがるサイエンス3(啓林館)・中学の理科-物理・化学-(教育開発出版) 中学の理科-生物・地学-(教育開発出版)・化学基礎(東書)・化学図録(数研出版)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	中学理科エネルギー編① ・力による現象	・力の種類、表し方について学ぶ。 ・質量とばねののびの関係について学ぶ。	9	10	3. 金属と金属結合	・金属結合のでき方と性質について学ぶ。	12
	エネルギー編② ・力の合成と分解 ・物体の運動	・水圧と浮力について学ぶ。 ・合力と分力について学ぶ。 ・等速直線運動について学ぶ。 ・斜面上の運動について学ぶ。 ・作用・反作用について学ぶ。			4. 物質の分類	・ファンデルワールス力と水素結合について学ぶ。 ・物質の分類方法を学ぶ。	
5	・仕事とエネルギー ・多様なエネルギーとその移り変わり	・仕事について学ぶ。 ・エネルギーの変換について学ぶ。 ・化石燃料について学ぶ。 ・放射線について学ぶ。	12	11	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式	・相対質量の概念を学ぶ。 ・モル質量の求め方を学ぶ。 ・物質とその単位「mol」について学ぶ。 ・気体の密度について学ぶ。 ・質量パーセント濃度とモル濃度の求め方を学ぶ。 ・化学反応式の作り方学ぶ。 ・化学反応における物質の量的関係を物質質量を用いて学ぶ。	12
	環境編 ・自然界のつりあい ・人間と環境	・食物連鎖について学ぶ。 ・微生物のはたらきについて学ぶ。 ・自然界での物質の循環を学ぶ。 ・水質調査の仕方について学ぶ。			1. 原子量分子式量 2. 物質質量		
6			12	12	3. 溶液の濃度 4. 化学反応式と量的関係		9
7	化学基礎 第1編 物質の状態 第1章 物質の構成元素 1. 物質の成分 2. 物質の構成元素 3. 物質の三態	・物質の分類や分離、生成方法を学ぶ。 ・単体、化合物、元素の概念を学ぶ。 ・物質の状態変化について学ぶ。	9	1	第2章 酸と塩基 1. 酸と塩基 2. 水素イオン濃度とpH	・酸と塩基の定義や性質、反応について学ぶ。 ・酸と塩基の強さと、水素イオン濃度の関係を学ぶ。 ・水の電離とpHについて学ぶ。	9
	第2章 原子の構造と元素の周期表 1. 原子の構造 2. 元素の周期律と元素の性質	・原子の構造、電子配置と原子の性質との関係性を学ぶ。 ・元素の周期律と元素の性質を学ぶ。			3. 中和反応と塩の生成 4. 中和滴定	・中和反応および塩の種類と性質を学ぶ。 ・中和滴定に使用する器具の取り扱いを学ぶ。 ・中和滴定の操作を習得し、量的関係を学ぶ。	
8			3	2			12
9	第3章 化学結合 1. イオンとイオン結合 2. 分子と共有結合	・イオン結合のでき方と性質を学ぶ。 ・共有結合のでき方と性質、配位結合について学ぶ。 ・電気陰制度と分子の極性について学ぶ。	12	3			9

備考

教科名	理科	科目名	科学と人間生活(物理)	単位数	5(2)
対象	中学3年	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 自然現象に対する興味・関心を高め、目的意識をもって、観察・実験などを行う。 ② 科学的に調べる能力と態度を育てるとともに、自然現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	科学と人間生活（第一学習社）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	<全員> 運動の表し方 1. 速度 2. 加速度	<ul style="list-style-type: none"> 速度の表し方を学ぶ。 扱う文字式を学ぶ。 等加速度運動の公式を学ぶ。 v-tグラフ, x-tグラフの読み取り・活用を学ぶ。 	3	10	3. 運動の法則	<ul style="list-style-type: none"> 運動方程式の使い方を学ぶ。 摩擦力の使い分けを学ぶ。 荒い面での運動方程式について学ぶ。 液体や気体から受ける抗力について学ぶ。 	12
5			4	11			12
6	落体の運動 1. 自由落下 2. 投げおろし運動 3. 投げ上げ運動 4. 水平投射	<ul style="list-style-type: none"> 自由落下の公式を学ぶ。 投げおろし運動の公式の使い方を学ぶ。 投げ上げ運動の公式の使い方を学ぶ。 水平投射の公式の使い方を学ぶ。 	4	12	仕事とエネルギー 1. 仕事 2. 力学的エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の表し方を学ぶ。 運動エネルギーについて学ぶ。 位置エネルギーについて学ぶ。 力学的エネルギー保存の法則について学ぶ。 粗い面でのエネルギーについて学ぶ。 	9
7	5. 斜方投射	<ul style="list-style-type: none"> 速度の水平成分・鉛直成分の表し方を学ぶ。 斜方投射の公式の使い方を学ぶ。 	3	1			9
8	<物理選択者のみ> 運動の法則 1. 力とそのはたらき 2. 力のつり合い	<ul style="list-style-type: none"> 力の種類と表し方を学ぶ。 力の合成・分解について学ぶ。 力のつり合いの表し方を学ぶ。 	3	2	熱とエネルギー 1. 熱量保存 2. 熱量と物理変化 3. 熱と仕事	<ul style="list-style-type: none"> 熱量保存則について学ぶ。 水の物理変化と与える熱の関係について学ぶ。 熱サイクルについて学ぶ。 	12
9			12	3			9

備考：1学期は物理分野・生物分野どちらも履修。2学期よりどちらか選択して受ける(理系は物理・生物選択可、文系は生物)

教科名	理科	科目名	科学と人間生活(生物)	単位数	5(2)
対象	中学3年	履修形態	選択	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 自然現象に対する興味・関心を高め、目的意識をもって、観察・実験などを行う。 ② 科学的に調べる能力と態度を育てるとともに、自然現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価				
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。				
教科書・教材等	科学と人間生活(第一学習社)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	<全員> 生物の特徴 1. 生物の多様性と共通性 2. エネルギーと代謝	<ul style="list-style-type: none"> 生物の多様性と共通性について理解する。 生命活動とそれを支えるエネルギーについて理解する。 酵素反応の実験観察を行う。 	3	10	2. 腎臓と肝臓 3. 神経とホルモンによる調節 4. 免疫	<ul style="list-style-type: none"> 腎臓と肝臓のはたらきを理解する。 神経とホルモンによる情報伝達と分泌調節のしくみを理解する。 免疫によるたぐみな生体防御のしくみを理解する。 	8
5	3. 光合成と呼吸	<ul style="list-style-type: none"> 光エネルギーを化学エネルギーに変える光合成と生命活動に必要なエネルギーを取り出す呼吸について理解する。 	4	11			8
6			4	12			6
7	遺伝子とそのはたらき 1. 遺伝情報とDNA 2. 遺伝情報の発現 3. 遺伝情報の分配	<ul style="list-style-type: none"> DNAの構造と遺伝情報の関係について理解する。 DNAモデルを作製する。 遺伝情報からタンパク質が合成される過程を理解する。 遺伝情報の分配と分配された遺伝情報について理解する。 体細胞分裂の実験観察を行う。 	3	1	生物の多様性 1. さまざまな植生 2. 植生の遷移 3. 気候とバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> 陸上でみられるさまざまな植生について理解する。 植生が移り変わる過程とその仕組みについて理解する。 気候ごとの植生と生物のまとまりを理解する。 	6
8			1	2	生態系とその保全 1. 生態系 2. 物質循環とエネルギーの流れ 3. 生態系のバランス	<ul style="list-style-type: none"> 生態系の成り立ちや生物どうしのつながりを理解する。 炭素の循環に伴ってエネルギーが移動していることを理解する。 窒素の循環について理解する。 生態系のバランスとは何かを考える。 	8
9	<生物選択者のみ> 生物の体内環境 1. 体液という体内環境	<ul style="list-style-type: none"> 細胞が安定した生命活動を維持できるしくみを理解する。 		3	4. 人間生活と生態系の保全	<ul style="list-style-type: none"> 生態系に及ぼす人間活動の影響と生態系の保全の重要性について考える。 	6

備考：1学期は物理分野・生物分野どちらも履修。2学期よりどちらか選択して受ける(理系は物理・生物選択可、文系は生物)

教科名	音楽	科目名	音楽	単位数	1
対象	中学3年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 ② 楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創造的に表現する能力を高める。 ③ 音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く鑑賞する能力を高める。				
評価の観点 評価方法	① 自己のイメージをもち、感性を働かし、創造的で個性豊かに技能を身に付けている。 ② 音楽文化に対する総合的な理解を深め、そのよさや美しさを個性豊かに味わう。 ③ 音楽文化を愛好・尊重し、個性豊かに意欲的・主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わう。				
学習方法	① 腹式呼吸による豊かで自然な発声を身につける。 ② 和楽器の基本奏法を学ぶ。 ③ 楽典の基礎を理解し、視唱(奏)力を付ける。				
教科書・教材等	中学生の音楽2・3下(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)ほか				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	「花」 「早春賦」	<ul style="list-style-type: none"> 腹式呼吸を基本とした豊かな発声を行う。 基本的な発声に加え、混声合唱としての響きの美しさを聴き合い、のびのびと楽しく表現出来るようになる。 	3	10	「星に願いを」 「モルダウ」 「ホフマンの舟歌」 ＊9月の内容の継続	<ul style="list-style-type: none"> ＃・♭の運指を覚え、美しい音を出せるようにする。 質の高いアンサンブルを目指す。 	4
5	「心の瞳」	<ul style="list-style-type: none"> 混声合唱の調和を目指す2～3部合唱を行う。 	4	11	鍵盤楽器・バレエ・合唱 ・協奏曲の名曲 能・雅楽	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞を行う。 西洋音楽に偏ることなく、幅広い音楽観を身に付ける。 	4
6			4	12			3
7			3	1	和楽器の種類と歴史を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 和楽器による演奏を行う。 我が国の伝統的な音楽文化の良さに気づき、尊重する心を育てる。 	3
8	「星に願いを」 「モルダウ」 「ホフマンの舟歌」	<ul style="list-style-type: none"> Aリコーダーによる独奏・アンサンブルを行う。 ＃・♭の運指を覚え、美しい音を出せるようにする。 質の高いアンサンブルを目指す。 	1	2	「卒業式関連唱歌」	<ul style="list-style-type: none"> 混声合唱の調和を目指す2～3部合唱を行う。 	4
9			4	3			3

備考: 曲目は変更される場合があります

教科名	美術	科目名	美術	単位数	1
対象	中学3年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てる。 ② 感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、豊かな情操を養う。				
評価の観点 評価方法	① 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。(美術への関心・意欲・態度) ② 感性や想像力を働かせて豊かに発想し、よさや美しさなどを考え心豊かで創造的な表現の構想を練っている。(発想や構想の能力) ③ 感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付け、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。(創造的な技能)				
学習方法	個人制作と一斉授業。				
教科書・教材等	美術2・3(下)(日文)、美術資料(秀学社) 水彩用具、スケッチブック、美術資料など				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	鉛筆で静物、風景を描く。 人物のクロッキーなど。	対象をよく観察して形、表情、質感、明暗、量感などを描写する。	3	10	シナ材の板から彫刻刀を使って木彫する。 *9月の内容の継続	図柄やデザインを工夫し、美しい木彫を創造する。	4
5			4	11	シュールレアリズム絵画 超現実的な絵画を描いてみる。	ディペイズマンなどの技法を取り入れた表現を試みる。	4
6			4	12			3
7	水彩、色鉛筆で静物、風景を描く。	鉛筆デッサンで学んだ明暗、量感などを色彩で表現する。	3	1	鑑賞する。	仏像等を鑑賞することで、当時の時代背景と美術作品の関連性を理解する。	3
8			1	2	自画像を描く。	今の気持ちや感じ取ったことをもとに表現する。	4
9	シナ材の板から彫刻刀を使って木彫する。	図柄やデザインを工夫し、美しい木彫を創造する。	4	3			3

備考

教科名	保健体育	分野名	保健体育	単位数	3
対象	中学3年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。				
評価の観点 評価方法	① 忘れ物や提出物などを含め、授業を通して自らを高めようとする意欲・関心・態度を評価する。 ② 各競技の技能を実技テストによって総合的に評価する。 ③ 各学期ごと、自己の振り返り、努力・工夫したことを思考・判断として総合的に評価する。				
学習方法	① 集団行動 ② 基礎的・合理的な運動の実践 ③ 教科書・資料を用いた学習				
教科書・教材等	必要に応じて視聴覚教材 中学校保健体育（大日本図書）				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	体づくり運動 ※体育理論 文化としてのスポーツの意義	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。 文化としてのスポーツの意義について理解する。	9	10	バレーボール	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームが展開できる。 ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開する。	12
5	陸上競技	記録の向上や競技の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身につける。 積極的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。	12	11			12
6			12	12	バドミントン	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームが展開できる。 ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開する。	9
7	サッカー	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームが展開できる。 ゴール型では安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによって前への侵入などから攻防を展開すること。	9	1			9
8	※健康な生活と 病気の予防	健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。	3	2	バスケットボール	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームが展開できる。 ゴール型では安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによって前への侵入などから攻防を展開すること。	12
9			12	3			9

備考

教科名	技術・家庭	分野名	家庭分野	単位数	1/2 (前期)
対象	中学3年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得する。 ② 家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をより良くしようとする能力と態度を身につける。				
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…ワークシートなどをもとに評価する。 ② 思考力・判断力・表現力…ワークシートや実験シートなどをもとに評価する。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業態度、ワークシートなどをもとに評価する。				
学習方法	① 教室での一斉授業で内容を理解する。 ② 体験の中で実践的な態度を身につけていく。				
教科書・教材等	技術・家庭 家庭分野 (教育図書株式会社)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	わたしたちの生活の自立 第2章 幼児の生活と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活の自立」とは何かを考える。 ・自立するための課題を把握する。 ・じぶん絵日記作りを通して、自分の幼児期を思い出したり身近な幼児に目を向ける。 	3	10			
5		<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が必要とする栄養素と摂取量を理解した上で、幼児の食生活を支えるメニューを調理実習を通して理解する。 	4	11			
6		<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の一日の生活の様子を知り、遊びの重要性を考える。 ・幼児の遊びの種類や役割、遊びの中で育つ力について理解する。 	4	12			
7		<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の体、運動機能、言語、情緒、社会性の発達について知る。 ・幼児が身につけるべき、基本的な生活習慣について知る。 	3	1			
8		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが育つ環境としての家族の役割について考える。 	1	2			
9		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係をよりよくする方法を考える。 ・家庭生活は地域の人々に支えられていることを知る。 	4	3			

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションI	単位数	4
対象	中学3年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 英語の音声や語彙、表現、文法などの理解を深めるとともに、これらの知識を4技能による実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できるようにする。 ② コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解できるようにする。 ③ 英語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。				
評価の観点 評価方法	① 4技能（読む・書く・聞く・話す）のための知識と技能を身につけているかという観点で、定期考査、実力テスト、小テストなどによる評価を行う。（知識・技能） ② 学習した知識や技能を活用できているかという観点で、定期考査、実力テスト、授業時における英語活動などによる評価を行う。（思考・判断・表現） ③ 異文化理解や英語を用いてのコミュニケーションへの主体的な取り組みという観点で、授業や課題への取り組み、提出物などによる評価を行う。（主体的に取り組む態度）				
学習方法	① 予習にて、本文理解に必要な語彙や文法事項を確認しておく。 ② 授業を通して、本文内容や文法事項などを理解する。 ③ 読む・聞く・音読する・書く・発表するなど、積極的に教科書内容に触れる。 ④ 英語を通して、情報や主張・意見を的確に理解できるよう復習に努める。				
教科書・教材等	教科書 NEW TREASURE STAGE3 (Z会)、ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I (東京書籍) 副教材 NEW TREASURE STAGE3 文法問題集(Z会)、NEW CROWN 3 (三省堂)、速読英単語 必修編 (Z会)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	Lesson 1 過去のある時点よりも前にしたことや状態を、過去と結びつけて表現する	完了形 ・ 復) 現在完了 ・ 現在完了進行形 ・ 過去完了 など	12	10	物や人の特徴を説明したり、補足説明をしたりする	・ 関係代名詞whose ・ 関係代名詞what ・ 制限用法・非制限用法	16
	Lesson 2 過去の推量や過去の習慣を表現する	助動詞の発展的用法 ・ 推量を表す助動詞 ・ 助動詞+have+過去分詞 ・ would / used to など			Lesson 8 時や場所、理由などをより詳しく説明する	関係副詞 ・ 関係代名詞と前置詞 ・ 関係副詞where, when, why ・ 関係副詞how / 非制限用法	
5	Lesson 3 人に対する評価や行為の目的を伝える	不定詞を含むさまざまな表現 ・ 復) It ~for (of) -to ・ 復) in order to / 不定詞+前置詞 / 不定詞の否定形	16	11	Lesson 9 名詞の働きをするさまざまな表現を使う	名詞節 ・ 復) 疑問詞に導かれた名詞節 ・ What do you think ~? ・ 名詞節を導くif, whether ・ It ~ that ...	16
	Lesson 4 人に行為をさせたことを話せる	使役動詞・知覚動詞 ・ 使役動詞 ・ 知覚動詞 ・ seem (appear) to ・ 完了不定詞			Lesson 10 文に‘状況’や‘理由’などの情報を加える	分詞・分詞構文 ・ SVC (=分詞), SVOC (=分詞) ・ 分詞構文 ・ 否定形・完了形の分詞構文	
6	Lesson 5 誰かにさせたことを表現する	受動態の発展的用法 ・ 助動詞を用いた受動態 ・ 進行形/完了形の受動態 ・ 句動詞・使役動詞・知覚動詞の受動態	4	2	Lesson 11 事実とは異なることを想像して表現する	仮定法 ・ 仮定法過去 ・ 仮定法過去完了 ・ I wish ... / as if (though)	12
	Lesson 6 文と文をつなぐさまざまな表現を使う	副詞節 ・ 相関接続詞 ・ ‘時’ ‘譲歩’などを表す接続詞 ・ ‘目的’ ‘結果’などを表す接続詞			Lesson 12 さまざまな表現を使うことで主張や気持ちをより明確に伝える	さまざまな表現/ 比較・強調・否定・倒置 ・ 比較級・最上級を用いた表現 ・ 強調構文 ・ 倒置	
9	Lesson 7	関係代名詞	16	3			9

備考 学習進度は、クラスにより異なる。NEW TREASURE3学習後は、ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I を学習する。

教科名	外国語	科目名	英語表現 I	単位数	3
対象	中学3年	履修形態	必修	授業形態	一斉
学習の到達目標	① 英語の音声や語彙、表現、文法などの理解を深めるとともに、これらの知識を4技能による実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できるようにする。 ② コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じ、日常的な話題や社会的な話題について情報や考え、話し手や聞き手の意図などを理解し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。 ③ 英語を通じて、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える力を養う。				
評価の観点 評価方法	① 4技能（読む・書く・聞く・話す）のための知識と技能を身につけているかという観点で、定期考査、実力テスト、小テストなどによる評価を行う。（知識・技能） ② 学習した知識や技能を活用できているかという観点で、定期考査、実力テスト、授業時における英語活動などによる評価を行う。（思考・判断・表現） ③ 異文化理解や英語を用いてのコミュニケーションへの主体的な取り組みという観点で、授業や課題への取り組み、提出物などによる評価を行う。（主体的に取り組む態度）				
学習方法	① 予習にて、本文理解に必要な文法事項、語彙を確認しておく。 ② 授業を通して、本文内容や文法事項などを理解する。 ③ 読む・聞く・音読する・書く・発表するなど、繰り返し積極的に教科書内容に触れる。 ④ 学習した文法事項や語彙などを復習し自分の伝えたい内容を英語で表現できるようにする。				
教科書・教材等	教科書 NEW TREASURE STAGE3 (Z会)、FACTBOOK English Logic and Expression I (桐原書店) 副教材 NEW TREASURE STAGE3 文法問題集(Z会)、GRAMMARMASTER (Z会出版)、無双英語(本校オリジナル教材)				

年 間 授 業 計 画

月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	FACTBOOK Unit 0 Get to know more about your classmate	<ul style="list-style-type: none"> 相手について知らなかったことを聞き出す。 動詞，基本文型 	9	10	FACTBOOK Unit 5 Save food you can still eat!	<ul style="list-style-type: none"> お互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出す。 情報を照らし合わせて条件に合うものを確認する。 不定詞 	12
	FACTBOOK Unit 1 Smart home, smart city	<ul style="list-style-type: none"> 希望を伝え、スケジュールを相談しながら決める。 展示会についての感想をブログの日記に書く。 時を表す表現 			factbook Unit 6 How can we become more health-conscious?	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活習慣を確認し、変えたい習慣を伝える。 相手からの悩み相談にアドバイスをする。 動名詞 	
5	FACTBOOK Unit 2 History and future of our town	<ul style="list-style-type: none"> 通りを見ながら街並みの変化について説明する。 移住体験ツアーを進めるウェブの広告文を書く。 完了形 	12	11	FACTBOOK Thinking Logically 3	<ul style="list-style-type: none"> 適切な具体例や説明が示されたまとまりのある意見文を書く。 フードロス減らすことについてプレゼンテーションをする。 	12
	FACTBOOK Thinking Logically 1	<ul style="list-style-type: none"> 意思を明確に示したまとまりのある文章を書く。 自分が将来、今の町に住み続けたいかスピーチをする。 			FACTBOOK Unit 7 How many clothes do you buy?	<ul style="list-style-type: none"> 贈るための商品を相談しながら決める。 プレゼントへの感謝の気持ちを伝える。 分詞 	
6	FACTBOOK Unit 3 Preparing for a natural disaster	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある商品を紹介し、その特長を説明する。 防災意識を高めるパンフレットの文章を書く。 助動詞 	12	12	FACTBOOK Unit 8 How do you decide which products to buy?	<ul style="list-style-type: none"> おすすめの商品を比較しながら紹介する。 図表を見ながらパンフレットの内容を説明する。 	9
	FACTBOOK Unit 4 Water supporting our lives	<ul style="list-style-type: none"> 相手が知らない情報を説明する。 問題に対処するための道具を紹介する。 受動態 			FACTBOOK Thinking Logically 4	<ul style="list-style-type: none"> つなぎ言葉を用いて論理的な流れの意見文を書く。 賛成と反対の立場に分かれて簡単なディベートをする。 	
7	FACTBOOK Unit 3 Preparing for a natural disaster	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある商品を紹介し、その特長を説明する。 防災意識を高めるパンフレットの文章を書く。 助動詞 	9	1	FACTBOOK Unit 9 A variety of ways to improve your English	<ul style="list-style-type: none"> お互いの考える良い方法を具体的に説明し合う。 お互いの希望を伝えあい参加プログラムを決める。 関係詞 	9
	FACTBOOK Unit 4 Water supporting our lives	<ul style="list-style-type: none"> 相手が知らない情報を説明する。 問題に対処するための道具を紹介する。 受動態 			FACTBOOK Thinking Logically 2	<ul style="list-style-type: none"> 適切な理由が示されたまとまりのある意見文を書く。 	
8	FACTBOOK Unit 3 Preparing for a natural disaster	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある商品を紹介し、その特長を説明する。 防災意識を高めるパンフレットの文章を書く。 助動詞 	9	2	FACTBOOK Unit 9 A variety of ways to improve your English	<ul style="list-style-type: none"> お互いの考える良い方法を具体的に説明し合う。 お互いの希望を伝えあい参加プログラムを決める。 関係詞 	12
	FACTBOOK Unit 4 Water supporting our lives	<ul style="list-style-type: none"> 相手が知らない情報を説明する。 問題に対処するための道具を紹介する。 受動態 			FACTBOOK Thinking Logically 2	<ul style="list-style-type: none"> 適切な理由が示されたまとまりのある意見文を書く。 	
9	FACTBOOK Thinking Logically 2	<ul style="list-style-type: none"> 適切な理由が示されたまとまりのある意見文を書く。 	12	3			9

備考 学習進度または中心的に使用する教材は、クラスにより異なる。

湯梨浜学園

VICTORY

LIST

湯梨浜学園 VICTORY LIST 国語

		評論	小説・詩歌	古文	漢文	
中学 1年	1 学期	<input type="checkbox"/> 主語・述語の関係が分かる。	<input type="checkbox"/> 心情を表す言葉を見つけることができる。			
		<input type="checkbox"/> 指示語の指す箇所が分かる。	<input type="checkbox"/> 心情を表す言葉を見つけ、場面ごとの心情の変化が分かる。			
		<input type="checkbox"/> 接続語の使い方が分かる。	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 抽象・具体を見分けることができる。	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 国語辞典・漢和辞典が使い、単語を調べることができる。				
		<input type="checkbox"/> 「キーワードの卵」の第1回～第15回が7割以上分かる。				
	2 学期	<input type="checkbox"/> 主語・述語の関係が分かり、自分で使いこなせる。	<input type="checkbox"/> 心情を表す言葉を見つけることが出来、文章を読みやすくなる。	<input type="checkbox"/> 歴史的仮名遣いを讀んだり書いたりすることができる	<input type="checkbox"/> 漢文の返り点(レ点・一二点等)が分かる。	
		<input type="checkbox"/> 指示語の内容が分かり、文章を読みやすくなる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 品詞の名称について理解できている		
		<input type="checkbox"/> 接続語の使い方が分かり、文章を読みやすくなる。	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 抽象・具体を見分け、筆者の主張したいことが分かる。	<input type="checkbox"/> 心情を表す言葉を見つけ、文章全体を通しての心情の変化が分かる。			
		<input type="checkbox"/> 段落の役割や、段落同士の関係が分かる。	<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 「キーワードの卵」の第1回～第30回が7割以上分かる。				
	3 学期	<input type="checkbox"/> 抽象・具体を見分け、筆者の主張したい段落を捉えることができる。	<input type="checkbox"/> 小説内の筆者の表現の工夫が分かる。	<input type="checkbox"/> 活用形について意味と用法を理解できている	<input type="checkbox"/> 漢文を書き下し文にすることができる。	
		<input type="checkbox"/> 自分の考えを持ち、他者に文章や言葉で伝えることができる。	<input type="checkbox"/> 情景描写を読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 短歌の技法を理解できる。	<input type="checkbox"/> 動詞(正格活用)の意味・活用がきちんと分かる。 <input type="checkbox"/> 動詞(変格活用)の意味・活用がきちんと分かる。		
		<input type="checkbox"/> 「キーワードの卵」の第1回～第45回が7割以上分かる。		<input type="checkbox"/> 授業で学習した文章の読み方が理解できる。		
	中学 2年	1 学期	<input type="checkbox"/> 段落同士の繋がりを踏まえながら筆者の主張を捉えることができる。	<input type="checkbox"/> 小説の表現の工夫を通して、心情の変化が分かる。 <input type="checkbox"/> 登場人物の心情の変化を捉えることができる。	<input type="checkbox"/> 形容詞・形容動詞の意味・活用がきちんと分かる。 <input type="checkbox"/> 用言や体言の判別がきちんとできる	
			<input type="checkbox"/> 「キーワードの卵」の第1回～第60回が7割以上分かる。		<input type="checkbox"/>	
		2 学期	<input type="checkbox"/> 筆者の主張を捉え、段落同士の繋がりを意識し、文章全体の段落構造が分かる。	<input type="checkbox"/> 直接文章に書かれていない心情を読み取れる。	<input type="checkbox"/> 9つの動詞の活用表が8割以上書ける。 <input type="checkbox"/> 助動詞の接続が8割以上暗記できている。 <input type="checkbox"/> 助動詞の果たす役割が分かる。	<input type="checkbox"/> 置き字の意味を理解できている <input type="checkbox"/> 漢文の読み方が分かり、短い文章を読むことができる
<input type="checkbox"/> 自分の考えを持ち、他者の考え方にも目を向け、思考することができる。						
<input type="checkbox"/> 内容を理解し、要約することができる。				<input type="checkbox"/> 文章を読む際に主語把握や指示語について理解できている。		
<input type="checkbox"/> 「キーワードの卵」の第1回～四字熟語・カタカナ語等が7割以上分かる。						
3 学期		<input type="checkbox"/> 抽象・具体を見分け、主張をまとめることができる。	<input type="checkbox"/> 小説の表現の工夫が理解でき、他者に説明できる。	<input type="checkbox"/> 形容詞・形容動詞の活用表が8割以上書ける		
		<input type="checkbox"/> 文章の展開を捉え、内容を理解し、文字数に応じた要約ができる。	<input type="checkbox"/> 詩や俳句の効果的な表現技法を捉えることができる。	<input type="checkbox"/> 助動詞の活用表が8割以上書ける。 <input type="checkbox"/> 授業で学習した文章の読み方が理解できている。		
		<input type="checkbox"/> 「キーワードの卵」の全体が7割以上分かる。		<input type="checkbox"/> 「サクラサク古文単語」の1～100(敬語除く)が6割以上分かる。		

		評論	小説・詩歌	古文	漢文					
中学3年	1学期	<input type="checkbox"/>	二つの評論を読み比べ、自分の考えをまとめることができる。	<input type="checkbox"/>	小説内の時代設定から人物の背景を読み取れる。	<input type="checkbox"/>	用言の活用表が8割以上書ける。	<input type="checkbox"/>	書き下し文から現代語訳をすることができる。	
		<input type="checkbox"/>	新聞などの情報を的確に捉えることができる。			<input type="checkbox"/>	係り結びの法則が理解できている	<input type="checkbox"/>	返読文字を理解している	
		<input type="checkbox"/>	筆者の主張の進め方を筋を追って捉えることができる。			<input type="checkbox"/>	和歌・俳句などの句切れや切れ字などを発見できる		<input type="checkbox"/>	漢文の文の構造を理解している
		<input type="checkbox"/>	「必修語彙ノート」の基礎編が7割以上分かる							
		<input type="checkbox"/>	「キーワードの卵」の全体が8割り以上以上分かる。			<input type="checkbox"/>	「サクラサク古文単語」の1～100(敬語除く)が7割以上分かる。			
	2学期	<input type="checkbox"/>	対比構造や演繹法・帰納法を見分けることができる。	<input type="checkbox"/>	小説の描写・比喻などのレトリック効果を見分けることができる。	<input type="checkbox"/>	助動詞の接続が完璧に暗記できている	<input type="checkbox"/>	漢文の句法(再読文字)が分かる。	
		<input type="checkbox"/>	論理的に文章を読みながら、筆者の主張を捉えることができる。	<input type="checkbox"/>	論理的に文章を読みながら人物や人物関係の心情を捉えることができる。	<input type="checkbox"/>	学習した助詞(ば・の等)が分かる。			
		<input type="checkbox"/>	「必修語彙ノート」の基礎編が8割以上分かる。			<input type="checkbox"/>	授業で学習した文章の読み方が理解でき、自分で使いこなすことができる。			
		<input type="checkbox"/>	「キーワードの卵」の全体が全て分かる。			<input type="checkbox"/>	「サクラサク古文単語」の1～100が8割以上分かる。			
	3学期	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションの方法などを駆使しながら分かりやすい発表ができる。	<input type="checkbox"/>	時代背景に合わせた心情を捉えることができる。	<input type="checkbox"/>	用言の活用表が正確に書ける。	<input type="checkbox"/>	漢文の句法(否定)が分かる。	
				<input type="checkbox"/>	プロレタリア文学など近代文学の流れが分かる。	<input type="checkbox"/>	「推量・推定・過去・完了・存続・打消」等の助動詞の違いが分かる。			
		<input type="checkbox"/>	「必修語彙ノート」の基礎編が全て分かる。			<input type="checkbox"/>	古文の月の異名や時間など基礎知識が分かる。			
				<input type="checkbox"/>	「サクラサク古文単語」の1～100が全て分かる。					

湯梨浜学園 VICTORY LIST 社会

1 学 期	1	<input type="checkbox"/> メルカトル図法を用いて、経度や緯度を指摘できる。
	2	<input type="checkbox"/> 正距方位図法の性質を理解し、2地点の方位が指摘できる。
	3	<input type="checkbox"/> 球体の性質をふまえて、経度間・緯度間でのおよその距離が出せる。
	4	<input type="checkbox"/> 六大陸・三太洋が白地図上で指摘できる。
	5	<input type="checkbox"/> 世界の気候区分が理解でき、雨温図の問題が解ける。
	6	<input type="checkbox"/> 伝統住居と気候の関連が短文で説明できる。
	7	<input type="checkbox"/> メルカトル図法を用いて、緯度や経度が指摘できる。
	8	<input type="checkbox"/> 気候と作物の特性が理解できる。
	9	<input type="checkbox"/> アフリカの人為的国境の経緯について説明できる。
	10	<input type="checkbox"/> 時差のしくみと計算ができる。
	11	<input type="checkbox"/> 世界の宗教と禁忌事項が理解できる。
	12	<input type="checkbox"/> 表・統計地図を適切に読むことができる。
	13	<input type="checkbox"/> 時事的問題への関心がある。
2 学 期	1	<input type="checkbox"/> 世界各州で人口の偏りと地形の関連が説明できる。
	2	<input type="checkbox"/> 各州の農業・工業の特徴が理解でき、短文で説明できたり、統計問題が解ける。
	3	<input type="checkbox"/> 各州の気候の特徴を理解し、雨温図の問題が解ける。
	4	<input type="checkbox"/> 各州の民族・宗教についての課題を理解している。
	5	<input type="checkbox"/> 地形図を読図し、距離計算や方位、土地利用に関する問題が解ける。
	6	<input type="checkbox"/> 日本のさまざまな地方区分が理解できている。
	7	<input type="checkbox"/> 日本と世界の特色ある地形を地図上で指摘できる。
	8	<input type="checkbox"/> 気候と災害の関連を理解し、身近な問題への対策を述べることができる。
	9	<input type="checkbox"/> 世界と日本の人口に関する統計問題が解ける。
	10	<input type="checkbox"/> 日本の過疎・過密の特徴を短文で説明できる。
	11	<input type="checkbox"/> 時事的問題への関心があり、N検5級の国際分野の問題が解ける。
3 学 期	1	<input type="checkbox"/> 日本の工業立地・世界の資源分布に関する問題が解ける。
	2	<input type="checkbox"/> 交通機関の長所と短所が指摘できる。
	3	<input type="checkbox"/> 空間距離の拡大・縮小に関連した問題が解ける。
	4	<input type="checkbox"/> 日本各地方の地形・気候の特徴を理解している。
	5	<input type="checkbox"/> 各地方の産業の特徴を理解し、統計問題が解ける。
	6	<input type="checkbox"/> 伝統産業・住居と気候・文化の関連が短文で説明できる。
	7	<input type="checkbox"/> 外国人観光客増加の地域的特性を理解できる。
	8	<input type="checkbox"/> 交通機関の発達と人口流出・工業の発達について、統計地図を読み説明できる。
	9	<input type="checkbox"/> 時事的問題への関心があり、N検4級地理分野の問題が解ける。

1 学 期	1	<input type="checkbox"/> 資料を使って、時代の特色をつかみ、比較をすることができる。
	2	<input type="checkbox"/> 旧石器時代と新石器時代の特徴が理解できる。
	3	<input type="checkbox"/> 世界四大文明の特色が理解できる。
	4	<input type="checkbox"/> 世界三大宗教の地域性と特色が理解できる。
	5	<input type="checkbox"/> 大和政権の勢力拡大の様子と、中国・朝鮮との交流の特徴が理解できる。
	6	<input type="checkbox"/> 弥生時代の中国との関係で、文献資料を読み取ることができる。
	7	<input type="checkbox"/> 天皇を中心とした飛鳥時代の政治のしくみが理解できる。
	8	<input type="checkbox"/> 奈良時代の政治のしくみが理解できる。
	9	<input type="checkbox"/> 奈良時代の土地制度のしくみが理解できる。
	10	<input type="checkbox"/> 平安時代初期の仏教の動きが理解できる。
	11	<input type="checkbox"/> 摂関政治の特徴が説明できる。
	12	<input type="checkbox"/> 国風文化の特徴が理解できる。
	13	<input type="checkbox"/> 武士の登場の背景や、平安時代の武士の役割について説明できる。
	14	<input type="checkbox"/> 源氏による政治と北条氏による執権政治の特徴が理解できる。
	15	<input type="checkbox"/> 鎌倉時代の新しい仏教の特徴、仏教の隆盛を担う鎌倉文化の特徴が理解できる。
	16	<input type="checkbox"/> 元の襲来において日本と元軍での戦法の違いが理解できる。
	17	<input type="checkbox"/> 鎌倉幕府滅亡の過程が理解できる。
	18	<input type="checkbox"/> 南北朝動乱から室町幕府成立までの中央と地方の政治の特徴が理解できる。
	19	<input type="checkbox"/> 明・朝鮮・琉球・アイヌとの交易の特徴が説明できる。
	20	<input type="checkbox"/> 室町時代の産業の特徴と村の変化が理解できる。
	21	<input type="checkbox"/> 戦国大名の領地支配の特徴が理解できる。
	22	<input type="checkbox"/> 室町文化の特色が説明できる。
中 学 2 年	1	<input type="checkbox"/> 摂関政治と武家政権の特徴と相違が説明できる。
	2	<input type="checkbox"/> 中世ヨーロッパ世界のキリスト教をめぐる動きが理解できる。
	3	<input type="checkbox"/> イスラム帝国の拡大と世界とのつながりが理解できる。
	4	<input type="checkbox"/> 宗教改革に至った背景と、宗教改革後のキリスト教の動きが説明できる。
	5	<input type="checkbox"/> 大航海時代におけるヨーロッパ諸国の進出による世界の変化が理解できる。
	6	<input type="checkbox"/> 南蛮貿易の特徴が説明できる。
	7	<input type="checkbox"/> 織田信長と豊臣秀吉の統一事業の特徴と違いが理解できる。
	8	<input type="checkbox"/> 豊臣秀吉の兵農分離政策の内容と結果が理解できる。
	9	<input type="checkbox"/> 南蛮文化・桃山文化の特徴を、具体的な文物をもって説明できる。
	10	<input type="checkbox"/> 幕藩体制の成立過程と、大名や朝廷を統制する政策が理解できる。
	11	<input type="checkbox"/> 都市と農村における身分制度の特徴が理解できる。
	12	<input type="checkbox"/> 朱印船貿易から鎖国政策にいたる過程が説明できる。
	13	<input type="checkbox"/> 鎖国下での対外関係の特徴が理解できる。
	14	<input type="checkbox"/> 江戸時代の産業の発達について、特産物・商品作物ということばを使って説明できる。
	15	<input type="checkbox"/> 江戸と三都を結ぶ交通の特徴が理解できる。
	16	<input type="checkbox"/> 徳川綱吉の政治・文化の特色が理解できる。
	17	<input type="checkbox"/> 江戸幕府3大改革と田沼政治の特徴が理解できる。
	18	<input type="checkbox"/> 幕末における外国船来航と幕府の対応が説明できる。
	19	<input type="checkbox"/> 3つの市民革命の経緯と結果が理解できる。
	20	<input type="checkbox"/> 19世紀のアメリカ・ロシアの発展が理解できる。
	21	<input type="checkbox"/> 産業革命の特徴と、欧米に与えた影響が理解できる。
	22	<input type="checkbox"/> 欧米のアジア進出による貿易の特徴が説明できる。
	23	<input type="checkbox"/> 幕末の不平等条約の内容が理解できる。
	24	<input type="checkbox"/> 開国後の政治と経済の特徴が説明できる。
	25	<input type="checkbox"/> 幕末から新政府樹立までの出来事が理解できる。
	26	<input type="checkbox"/> 明治政府の三大改革の内容と結果が理解できる。
	27	<input type="checkbox"/> 富国強兵・文明開化・殖産興業の特徴が理解できる。
	28	<input type="checkbox"/> 朝鮮・清国と明治政府の対応を、資料を使って説明できる。
	29	<input type="checkbox"/> 1880年代前半までの自由民権運動の様子が理解できる。
	30	<input type="checkbox"/> 大日本帝国憲法と帝国議会の特徴が理解できる。
	31	<input type="checkbox"/> 日清戦争にいたる経緯と、戦争後の日本の様子が理解できる。
	32	<input type="checkbox"/> 日露戦争にいたる経緯と、戦争後の日本の様子が理解できる。
	33	<input type="checkbox"/> 日露戦争後の韓国と中国の政治の変化が理解できる。
	34	<input type="checkbox"/> 日本の産業革命の発展と社会問題の発生が理解できる。
	35	<input type="checkbox"/> 明治文化において、これまでの文化と変化したところを説明できる。
	36	<input type="checkbox"/> 第一次世界大戦の経緯が理解できる。

	37	<input type="checkbox"/> ロシア革命からソビエト連邦にいたるまでの政治の変化が理解できる。
	38	<input type="checkbox"/> 第一次世界大戦後、欧米がどのような国際関係を築こうとしたか理解できる。
	39	<input type="checkbox"/> アジアの民族音頭を理解できる。
3 学 期	1	<input type="checkbox"/> 大正デモクラシーの特色が理解できる。
	2	<input type="checkbox"/> 社会運動の拡大・差別の是正に向けた動きが理解できる。
	3	<input type="checkbox"/> 大正時代・昭和初期の日本の文化が理解できる。
	4	<input type="checkbox"/> 世界恐慌から始まった世界経済の特徴が説明できる。
	5	<input type="checkbox"/> 関東大震災以降、政党政治が行き詰まる過程と理由が理解できる。
	6	<input type="checkbox"/> 満州事変後の国内政治の変化を短文で説明できる。
	7	<input type="checkbox"/> 日中戦争から始まる国民生活の変化が理解できる。
	8	<input type="checkbox"/> 第二次世界大戦の拡大の過程をドイツの動きを中心に理解できる。
	9	<input type="checkbox"/> 太平洋戦争中の国民生活の特徴が理解できる。
	10	<input type="checkbox"/> 降伏後の日本の政治の変化が理解できる。
	11	<input type="checkbox"/> GHQによる民主化政策が理解できる。
	12	<input type="checkbox"/> 冷戦の対立が説明できる。
	13	<input type="checkbox"/> 冷戦中の日本の外交関係について理解できる。
	14	<input type="checkbox"/> 高度経済成長の正負の影響が理解できる。
	15	<input type="checkbox"/> 情報通信機器の発達の特徴が理解できる。

中学 3年	1 学 期	1	<input type="checkbox"/> グローバル化、情報化の進展について理解する。
		2	<input type="checkbox"/> 少子高齢化が、政治・経済に与える影響を説明できる。
		3	<input type="checkbox"/> 対立と合意、効率と公正について具体的課題を説明できる。
		4	<input type="checkbox"/> 日本国憲法の基本原理が生活の中にあることを理解できる。
		5	<input type="checkbox"/> 日本国憲法で定める基本的人権の用語が理解できる。
		6	<input type="checkbox"/> 現代の政治の仕組みについて理解できる。
		7	<input type="checkbox"/> 国会の働きについて理解できる。
		8	<input type="checkbox"/> 内閣の働きについて理解できる。
		9	<input type="checkbox"/> 裁判所の働きについて理解できる。
		10	<input type="checkbox"/> 日本の三権分立について理解できる。
		11	<input type="checkbox"/> 日本の地方自治のしくみについて理解できる。
	2 学 期	1	<input type="checkbox"/> 功利主義の考え方が理解できている。
		2	<input type="checkbox"/> 民主主義のしくみが理解できている。
		3	<input type="checkbox"/> 立憲主義と民主主義の関係が説明できる。
		4	<input type="checkbox"/> 現代の民主主義の課題となる用語が理解できている。
		5	<input type="checkbox"/> 日本の地方自治のしくみと課題が理解できている。
		6	<input type="checkbox"/> 国会・内閣のしくみと役割、現状が理解できる。
		7	<input type="checkbox"/> 選挙制度と課題が理解できる。
		8	<input type="checkbox"/> 日本の政党史が理解できる。法の役割と分類が理解できる。
		9	<input type="checkbox"/> 私法の3つの原則が理解できる。
		10	<input type="checkbox"/> 契約自由の原則と修正が理解できる。
11		<input type="checkbox"/> 消費者を守る体制と市民社会に向けた消費行動の例が説明できる。	
12		<input type="checkbox"/> 日本の司法のしくみが理解できる。	
13		<input type="checkbox"/> 消費者問題について理解できる。	
14		<input type="checkbox"/> 株式会社のしくみが説明できる。	
15		<input type="checkbox"/> 流通の役割が理解できる。	
16		<input type="checkbox"/> 金融政策が理解できる。	
17		<input type="checkbox"/> 需要と供給の関係を具体例を使って説明できる。	
18		<input type="checkbox"/> 社会保障の4本柱の用語が理解できる。	
3 学 期	1	<input type="checkbox"/> 経済主体と経済循環について理解できる。	
	2	<input type="checkbox"/> 寡占と独占のしくみが理解できる。	
	3	<input type="checkbox"/> 国民所得の考え方が理解できる。	
	4	<input type="checkbox"/> 貨幣・金融のしくみが理解できる。	
	5	<input type="checkbox"/> 日本銀行の金融政策が説明できる。	
	6	<input type="checkbox"/> 日本の財政政策とその課題が説明できる。	
	7	<input type="checkbox"/> 日本の社会保障制度とその課題が理解できる。	
	8	<input type="checkbox"/> 自衛隊と日米安全保障条約の関係について理解できる。	
	9	<input type="checkbox"/> 主な国のODA支出の特色が説明できる。	
	10	<input type="checkbox"/> リカードの比較生産費説を使った問題が解ける。	
	11	<input type="checkbox"/> 国際収支の用語が理解できる。	
	12	<input type="checkbox"/> 為替決済の利点が説明できる。	
	13	<input type="checkbox"/> 固定為替相場制と変動為替相場制の違いが説明できる。	
	14	<input type="checkbox"/> 円高・円安を利用した問題が解ける。	
	15	<input type="checkbox"/> FTAとEPAの違いが説明できる。	
	16	<input type="checkbox"/> 世界の地域統合が理解できる。	
	17	<input type="checkbox"/> 国際金融の近年の動向が理解できる。	
	18	<input type="checkbox"/> ルソーやレヴィンなどが定義する青年期の特徴が理解できている。	
	19	<input type="checkbox"/> カントとミルの功利主義の考え方が説明できる。	
	20	<input type="checkbox"/> 日本の思想家の人間観が理解できている。	
	21	<input type="checkbox"/> 国際連合の働きが理解できる。	

湯梨浜学園 VICTORY LIST 数学

1 学期	1	<input type="checkbox"/> 正の数・負の数・絶対値など用語を覚えている
	2	<input type="checkbox"/> 加法の計算ができる
	3	<input type="checkbox"/> 加法の計算法則を利用できる
	4	<input type="checkbox"/> 減法の計算ができる
	5	<input type="checkbox"/> 乗法の計算ができる
	6	<input type="checkbox"/> 乗法の計算法則を利用できる
	7	<input type="checkbox"/> 累乗について理解している
	8	<input type="checkbox"/> 除法の計算ができる
	9	<input type="checkbox"/> 四則の混じった計算が70%以上できる
	10	<input type="checkbox"/> 素数や素因数分解を理解している
	11	<input type="checkbox"/> いろいろな数量を文字を使って表すことができる
	12	<input type="checkbox"/> 単項式の計算ができる
	13	<input type="checkbox"/> 同類項をまとめることができる
	14	<input type="checkbox"/> 多項式の計算ができる
	15	<input type="checkbox"/> 文字に数を代入できる
	16	<input type="checkbox"/> 文字を利用して説明できる
	17	<input type="checkbox"/> 等式の性質を覚えている
	18	<input type="checkbox"/> 等式の性質を利用して方程式を解くことができる
	19	<input type="checkbox"/> 方程式を、以降を利用して解くことができる
	20	<input type="checkbox"/> 小数や分数を含む方程式を解くことができる
	21	<input type="checkbox"/> 1次方程式を文章題に利用して解くことができる
2 学期	1	<input type="checkbox"/> 等式の変形ができる
	2	<input type="checkbox"/> 連立方程式を、代入法を利用して解くことができる
	3	<input type="checkbox"/> 連立方程式を、加減法を利用して解くことができる
	4	<input type="checkbox"/> 連立方程式を利用して文章題を解くことができる
	5	<input type="checkbox"/> 不等式の記号を理解している
	6	<input type="checkbox"/> 不等式の性質を理解している
	7	<input type="checkbox"/> 不等式を解くことができる
	8	<input type="checkbox"/> 不等式を利用して文章題を解くことができる
	9	<input type="checkbox"/> 連立不等式を解くことができる
	10	<input type="checkbox"/> 関数についての用語を覚えている
	11	<input type="checkbox"/> 比例について、式を求められる。
	12	<input type="checkbox"/> 座標について覚えている
	13	<input type="checkbox"/> 比例のグラフを書くことができる
	14	<input type="checkbox"/> 反比例について、式を求められる
	15	<input type="checkbox"/> 反比例のグラフを書くことができる
	16	<input type="checkbox"/> 比例・反比例を利用して問題を解くことができる
3 学期	1	<input type="checkbox"/> 1次関数について、式を求められる
	2	<input type="checkbox"/> 1次関数のグラフを書くことができる
	3	<input type="checkbox"/> 1次関数のグラフから式を求めることができる
	4	<input type="checkbox"/> 1次関数の交点を求めることができる
	5	<input type="checkbox"/> 1次関数を文章題に利用できる
	6	<input type="checkbox"/> 連立不等式を解くことができる

中学1年
(代数)

中学 1年 (幾何)	1学期	1	<input type="checkbox"/> 直線・線分・半直線を理解している	
		2	<input type="checkbox"/> 2直線の位置関係について理解している	
		3	<input type="checkbox"/> 距離や角,円などの用語を理解している	
		4	<input type="checkbox"/> 図形の移動について理解している	
		5	<input type="checkbox"/> 基本的な作図ができる	
		6	<input type="checkbox"/> 三角形や円についての公式を理解している	
		7	<input type="checkbox"/> 立体についての用語を理解している。	
		8	<input type="checkbox"/> 正多面体について覚えている	
		2学期	1	<input type="checkbox"/> 空間における平面と直線の関係を理解している
			2	<input type="checkbox"/> 立体の切断について理解している
			3	<input type="checkbox"/> 投影図や展開図を使って問題を解くことができる
			4	<input type="checkbox"/> 立体の表面積,体積を求めることができる。
		5	<input type="checkbox"/> 球の表面積と体積を求めることができる	
		6	<input type="checkbox"/> 対頂角・同位角・錯角を利用して問題を解くことができる	
		7	<input type="checkbox"/> 三角形についての用語を覚えている	
		8	<input type="checkbox"/> 三角形についての角度を求めることができる	
		9	<input type="checkbox"/> 多角形についての角度を求めることができる	
		10	<input type="checkbox"/> 三角形の合同条件を覚えている	
		11	<input type="checkbox"/> 基本的な合同の証明ができる	
		12	<input type="checkbox"/> 定義や定理の意味を理解している	
	3学期	1	<input type="checkbox"/> 三角形の定義や定理を利用して問題を解くことができる	
		2	<input type="checkbox"/> 反例や逆について,問題を解くことができる	
		3	<input type="checkbox"/> 直角三角形の合同条件を利用して証明できる	
		4	<input type="checkbox"/> 平行四辺形の定義や定理を覚えている	
		5	<input type="checkbox"/> 正方形・長方形・ひし形の定義や定理を覚えている	
		6	<input type="checkbox"/> 等積変形を理解している	
		7	<input type="checkbox"/> 三角形の辺と角についての関係を覚えている	

1 学期	1	<input type="checkbox"/> 展開の公式を覚えている
	2	<input type="checkbox"/> 展開の公式を利用して計算できる
	3	<input type="checkbox"/> 因数分解の公式を覚えている
	4	<input type="checkbox"/> さまざまな多項式を因数分解できる
	5	<input type="checkbox"/> 展開の公式や因数分解の公式を計算に利用できる
	6	<input type="checkbox"/> 展開の公式や因数分解の公式を証明に利用できる
	7	<input type="checkbox"/> 平方根について説明できる
	8	<input type="checkbox"/> 平方根の大小がわかる
	9	<input type="checkbox"/> 平方根の近似値がわかる
	10	<input type="checkbox"/> 根号を含む計算ができる
	11	<input type="checkbox"/> 分母の有理化ができる
	12	<input type="checkbox"/> 有理数と無理数について理解している
2 学期	1	<input type="checkbox"/> 因数分解を利用して2次方程式を解くことができる
	2	<input type="checkbox"/> 平方完成を利用して2次方程式を解くことができる
	3	<input type="checkbox"/> 解の公式を利用して2次方程式を解くことができる
	4	<input type="checkbox"/> 判別式を利用できる
	5	<input type="checkbox"/> 文章題を, 2次方程式を利用して解くことができる
	6	<input type="checkbox"/> $y=ax^2$ のグラフを書くことができる
	7	<input type="checkbox"/> $y=ax^2$ のグラフの特徴を覚えている
	8	<input type="checkbox"/> 定義域や値域, 変化の割合を利用できる
	9	<input type="checkbox"/> $y=ax^2$ を利用して文章題を解くことができる
	10	<input type="checkbox"/> 放物線と直線の問題を解くことができる
3 学期	1	<input type="checkbox"/> いろいろな関数の問題を解くことができる
	2	<input type="checkbox"/> データについての用語を覚えている
	3	<input type="checkbox"/> 代表値について理解している
	4	<input type="checkbox"/> 四分位数について理解している
	5	<input type="checkbox"/> 箱ひげ図を書いたり読み取ったりできる
	6	<input type="checkbox"/> 場合の数を樹形図を書いて求めることができる
	7	<input type="checkbox"/> 場合の数を順列を利用して求めることができる
	8	<input type="checkbox"/> 場合の数を組み合わせを利用して求めることができる
	9	<input type="checkbox"/> 確率の問題を解くことができる
	10	<input type="checkbox"/> 起こらない確率を求めることができる
	11	<input type="checkbox"/> 標本調査に関連する用語を覚えている
	12	<input type="checkbox"/> 標本の選び方を理解している
	13	<input type="checkbox"/> 標本調査を利用して母集団の比率を推定することができる

中学2年(代数)

中学2年 (幾何)	1学期	1	<input type="checkbox"/> 相似についての用語や記号を覚えている	
		2	<input type="checkbox"/> 三角形の相似条件を覚えている	
		3	<input type="checkbox"/> 三角形の相似の証明ができる	
		4	<input type="checkbox"/> 平行線と線分の比について理解している	
		5	<input type="checkbox"/> 角の二等分線と比について理解している	
		6	<input type="checkbox"/> 中点連結定理を使用して問題を解くことができる	
		7	<input type="checkbox"/> 相似な図形の面積比と体積比について理解している	
		2学期	1	<input type="checkbox"/> 相似を利用して文章題を解くことができる
		2	<input type="checkbox"/> 内分点・外分点・重心について覚えている	
		3	<input type="checkbox"/> 線分比を利用して面積比を考えられる	
		4	<input type="checkbox"/> チェバの定理を利用して問題を解くことができる	
		5	<input type="checkbox"/> メネラウスの定理を利用して問題を解くことができる	
		6	<input type="checkbox"/> 円についての用語や定理を覚えている	
	7	<input type="checkbox"/> 円周角の定理を利用して問題を解くことができる		
	8	<input type="checkbox"/> 円周角の定理の逆を利用して問題を解くことができる		
	9	<input type="checkbox"/> 円に内接する四角形の性質を覚えている		
	10	<input type="checkbox"/> 四角形が円に内接する条件を覚えている		
	11	<input type="checkbox"/> 円と接線についての定理を覚えている		
	12	<input type="checkbox"/> 方べきの定理を覚えている		
	13	<input type="checkbox"/> 方べきの定理の逆を利用して問題を解くことができる		
	3学期	1	<input type="checkbox"/> 2つの円の位置関係について理解している	
	2	<input type="checkbox"/> 三平方の定理を覚えている		
	3	<input type="checkbox"/> 三平方の定理を利用して問題を解くことができる		
	4	<input type="checkbox"/> 2点間の距離を求められる		
	5	<input type="checkbox"/> 三平方の定理を利用して応用問題を解くことができる		
	6	<input type="checkbox"/> 三平方の定理を空間図形に利用できる		

中学3年 (代数)	1学期	1	<input type="checkbox"/> 多項式の加法と減法の計算ができる	
		2	<input type="checkbox"/> 多項式の乗法の計算ができる	
		3	<input type="checkbox"/> 2次式の因数分解ができる	
		4	<input type="checkbox"/> 3次式の因数分解ができる	
		5	<input type="checkbox"/> 実数について理解している	
		6	<input type="checkbox"/> 根号を含む計算問題ができる	
		7	<input type="checkbox"/> 不等式の性質を理解している	
		8	<input type="checkbox"/> 1次不等式を解くことができる	
		9	<input type="checkbox"/> 絶対値を含む方程式・不等式を解くことができる	
		10	<input type="checkbox"/> 命題と条件について理解している	
		2学期	1	<input type="checkbox"/> 証明ができる
			2	<input type="checkbox"/> 関数についての用語を覚えている
			3	<input type="checkbox"/> 2次関数のグラフを書くことができる
			4	<input type="checkbox"/> 2次関数の頂点の座標を求めることができる
			5	<input type="checkbox"/> 2次関数の最大・最小を求めることができる
		6	<input type="checkbox"/> 関数の場合分けができる	
		7	<input type="checkbox"/> 2次関数の式を求めることができる	
		8	<input type="checkbox"/> 2次方程式を解くことができる	
		9	<input type="checkbox"/> 判別式について理解している	
		10	<input type="checkbox"/> 2次関数とx軸との位置関係について理解している	
		11	<input type="checkbox"/> 2次不等式を解くことができる	
		12	<input type="checkbox"/> 2次不等式を解くために2次関数を利用できる	
		13	<input type="checkbox"/> 2次不等式の応用問題を解くことができる	
	3学期	1	<input type="checkbox"/> データの整理の方法を知っている	
		2	<input type="checkbox"/> 代表値について理解している	
		3	<input type="checkbox"/> 四分位数について理解している	
		4	<input type="checkbox"/> 箱ひげ図から読み取ることができる	
		5	<input type="checkbox"/> 分散や標準偏差を求めることができる	
		6	<input type="checkbox"/> 散布図について理解している	
		7	<input type="checkbox"/> 仮説検定についてりかいしている	
		8	<input type="checkbox"/> 3次式の展開公式を覚えている	
		9	<input type="checkbox"/> 3次式の因数分解の公式を覚えている	
		10	<input type="checkbox"/> 二項定理を利用して問題を解くことができる	
		11	<input type="checkbox"/> 多項式を多項式で割ることができる	
		12	<input type="checkbox"/> 分数式の四則計算ができる	
		13	<input type="checkbox"/> 恒等式について理解している	
		14	<input type="checkbox"/> 恒等式の証明ができる	
		15	<input type="checkbox"/> 不等式の証明ができる	

中学3年 (幾何)	1 学 期	1	<input type="checkbox"/> 場合の数を樹形図を書いて求めることができる
		2	<input type="checkbox"/> 和の法則や積の法則を理解している
		3	<input type="checkbox"/> 場合の数を順列を利用して求めることができる
		4	<input type="checkbox"/> 場合の数を組み合わせを利用して求めることができる
		5	<input type="checkbox"/> 円順列を求めることができる
		6	<input type="checkbox"/> 重複順列を求めることができる
		7	<input type="checkbox"/> 組み分けの総数を求めることができる
		8	<input type="checkbox"/> 同じものを含む順列を求めることができる
		9	<input type="checkbox"/> 確率の考え方を理解している
		10	<input type="checkbox"/> 確率の基本性質を理解している
		11	<input type="checkbox"/> 余事象を利用して確率を求めることができる
		12	<input type="checkbox"/> 独立な試行の確率を求めることができる
		13	<input type="checkbox"/> 反復試行の確率を求めることができる
		14	<input type="checkbox"/> 条件付き確率を求めることができる
		15	<input type="checkbox"/> 確率の乗法定理を利用して確率を求めることができる
		16	<input type="checkbox"/> 期待値を求めることができる
2 学 期	1	<input type="checkbox"/> 三角比の定義を覚えている	
	2	<input type="checkbox"/> 30° , 45° , 60° の三角比を覚えている	
	3	<input type="checkbox"/> 三角比の応用問題を解くことができる	
	4	<input type="checkbox"/> 三角比の相互関係を覚えている	
	5	<input type="checkbox"/> 三角比の相互関係を利用して問題を解くことができる	
	6	<input type="checkbox"/> 90° 以上の三角比を覚えている	
	7	<input type="checkbox"/> 等式を満たす θ を求めることができる	
	8	<input type="checkbox"/> 正弦定理を利用して問題を解くことができる	
	9	<input type="checkbox"/> 余弦定理を利用して問題を解くことができる	
	10	<input type="checkbox"/> 正弦定理と余弦定理の応用問題を解くことができる	
	11	<input type="checkbox"/> 三角形の公式を利用できる	
3 学 期	1	<input type="checkbox"/> 約数と倍数について理解している	
	2	<input type="checkbox"/> 倍数を判定できる	
	3	<input type="checkbox"/> 素数と素因数分解を理解している	
	4	<input type="checkbox"/> 素因数分解を利用して約数の個数を求めることができる	
	5	<input type="checkbox"/> 最大公約数と最小公倍数を求めることができる	
	6	<input type="checkbox"/> 整数の割り算について理解している	
	7	<input type="checkbox"/> ユークリッドの互除法を使って最大公約数を求めることができる	
	8	<input type="checkbox"/> 1次不定方程式の整数解を求めることができる	
	9	<input type="checkbox"/> 記数法を理解している	
	10	<input type="checkbox"/> n 進法を10進法で表すことができる	
	11	<input type="checkbox"/> 10進法の数を n 進法で表すことができる	
	12	<input type="checkbox"/> ゲームの必勝法について考えることができる	

湯梨浜学園 VICTORY LIST 理科

中学 1年	通年	1	<input type="checkbox"/> ルーペの使い方がわかる。
		2	<input type="checkbox"/> 正しい手順で顕微鏡が使える。
		3	<input type="checkbox"/> 花の各部の名前が言える。
		4	<input type="checkbox"/> 単子葉類と双子葉類の、根・茎・葉の違いがわかる。
		5	<input type="checkbox"/> 被子植物・裸子植物など、植物の分類ができる。
		6	<input type="checkbox"/> 肉食動物・草食動物の目・歯の違いが分かる。
		7	<input type="checkbox"/> 魚類・両生類など、セキツイ動物の分類ができる。
		8	<input type="checkbox"/> 節足動物・軟体動物など、無セキツイ動物の分類ができる。
		9	<input type="checkbox"/> 植物・動物の細胞のつくりが分かる。
		10	<input type="checkbox"/> 植物が行う光合成・呼吸・蒸散の仕組みが分かる。
		11	<input type="checkbox"/> デンプンなど、栄養分の消化の仕組みが分かる。
		12	<input type="checkbox"/> 動物の呼吸の仕組み、不要物の排出の仕組みが分かる。
		13	<input type="checkbox"/> 血液の成分と、血液の流れが分かる。
		14	<input type="checkbox"/> 目・耳など、感覚器官のつくりが分かる。
		15	<input type="checkbox"/> 刺激を受けてから運動するまでの仕組みが分かる。
		16	<input type="checkbox"/> 有機物・金属など、物質の特徴が分かる。
		17	<input type="checkbox"/> 正しい手順でガスバーナーを使うことができる。
		18	<input type="checkbox"/> 密度を計算することができる。
		19	<input type="checkbox"/> 水上置換法など、気体の集め方が分かる。
		20	<input type="checkbox"/> 酸素・二酸化炭素など、代表的な気体の性質の違いが分かる。
		21	<input type="checkbox"/> 溶質・溶媒・溶液の違いが分かる。
		22	<input type="checkbox"/> 質量パーセント濃度を計算することができる。
		23	<input type="checkbox"/> 溶解度曲線の読み取り方が分かる。
		24	<input type="checkbox"/> 再結晶の仕組みを理解している。
		25	<input type="checkbox"/> 状態変化とは何かを理解している。
		26	<input type="checkbox"/> 水とエタノールを、蒸留によって分離する仕組みが分かる。
		27	<input type="checkbox"/> 光が反射・屈折するときの角度について理解している。
		28	<input type="checkbox"/> 実像・虚像の位置や大きさを、作図によって求めることができる。
		29	<input type="checkbox"/> 音が伝わる仕組みを理解している。
		30	<input type="checkbox"/> 音の速さを計算によって求めることができる。
		31	<input type="checkbox"/> 音の大きさ・音の高さと波形との関係を理解している。
		32	<input type="checkbox"/> 初期微動・主要動の違いが分かる。
		33	<input type="checkbox"/> 初期微動継続時間を計算によって求めることができる。
		34	<input type="checkbox"/> 震度とマグニチュードの違いが分かる。
		35	<input type="checkbox"/> マグマのねばりけと火山の形との関係を理解している。
		36	<input type="checkbox"/> 火山岩と深成岩のつくりの違いが分かる。
		37	<input type="checkbox"/> 鉱物の種類と特徴が分かる。

中学 2年	通 年	1	<活きている地球>
		2	<input type="checkbox"/> マグマのねばりけと火山の形との関係を理解している。
		3	<input type="checkbox"/> 火山岩と深成岩のつくりの違いが分かる。
		4	<input type="checkbox"/> 鉱物の種類と特徴が分かる。
		5	<電流とその利用>
		6	<input type="checkbox"/> 電気用図記号を用いて、回路図を表すことができる。
		7	<input type="checkbox"/> 直列回路・並列回路と、電流・電圧との関係が分かる。
		8	<input type="checkbox"/> オームの法則を用いて、電流・電圧・抵抗を計算することができる。
		9	<input type="checkbox"/> 電力・発熱量を計算によって求めることができる。
		10	<input type="checkbox"/> 静電気・真空放電について理解している。
		11	<input type="checkbox"/> 棒磁石のまわりにできる磁界について理解している。
		12	<input type="checkbox"/> 右ねじの法則を用いて、電流の向き・磁界の向きを求めることができる。
		13	<input type="checkbox"/> モーターの仕組みが分かる。
		14	<input type="checkbox"/> 電磁誘導・誘導電流について理解している。
		15	<化学変化と原子・分子>
		16	<input type="checkbox"/> 鉄と硫黄の化合が分かる。
		17	<input type="checkbox"/> 炭酸水素ナトリウム・酸化銀の熱分解が分かる。
		18	<input type="checkbox"/> 水素・酸素など、代表的な物質の化学式が分かる。
		19	<input type="checkbox"/> 水の電気分解など、代表的な化学反応式が分かる。
		20	<input type="checkbox"/> 発熱反応・吸熱反応について理解している。
		21	<input type="checkbox"/> 質量保存の法則が分かる。
		22	<input type="checkbox"/> 銅と酸素・マグネシウムと酸素が化合するときの質量比を、計算によって求めることができる。
		23	<地球の大気と天気の変化>
		24	<input type="checkbox"/> 圧力を計算することができる。
		25	<input type="checkbox"/> 天気図記号を表すことができる。
		26	<input type="checkbox"/> 乾湿計と湿度計を用いて、湿度を求めることができる。
		27	<input type="checkbox"/> 雲ができる仕組みを理解している。
		28	<input type="checkbox"/> 湿度を計算によって求めることができる。
		29	<input type="checkbox"/> 温暖前線・寒冷前線など、前線の特徴が分かる。
		30	<input type="checkbox"/> 季節風・偏西風の違いが分かる。
		31	<input type="checkbox"/> 日本の夏・冬の気圧配置が分かる。
		32	<宇宙を観る>
		33	<input type="checkbox"/> プロミネンス・コロナなど、太陽のつくりが分かる。
		34	<input type="checkbox"/> 太陽系の惑星が分かる。
		35	<input type="checkbox"/> 銀河と銀河系の違いが分かる。
		36	<input type="checkbox"/> 季節による太陽の南中高度の変化が分かる。
		37	<input type="checkbox"/> 太陽・星の日周運動が分かる。
		38	<input type="checkbox"/> 日の出の時刻を計算によって求めることができる。
		39	<input type="checkbox"/> 年周運動と星座の見え方との関係を理解している。
		40	<input type="checkbox"/> 月の満ち欠けの仕組みが分かる。
		41	<生命の連続性>
		42	<input type="checkbox"/> 無性生殖・有性生殖の違いが分かる。
		43	<input type="checkbox"/> 生物の成長と細胞分裂との関係を理解している。
		44	<input type="checkbox"/> 体細胞分裂と減数分裂の違いが分かる。
		45	<input type="checkbox"/> メンデルの法則による遺伝の仕組みが分かる。
		46	<input type="checkbox"/> セキツイ動物の進化の歴史が分かる。

- 1 <力のつり合い>
- 2 矢印を用いて力を表すことができる。
- 3 フックの法則が分かる。
- 4 2つの力がつりあう条件が分かる。
- 5 水圧と浮力の関係を理解している。
- 6 合力・分力作図することができる。
- 7 <運動の法則>
- 8 等速直線運動が分かる。
- 9 慣性の法則が分かる。
- 10 瞬間の速さ・平均の速さを計算することができる。
- 11 作用と反作用の関係を理解している。
- 12 <仕事とエネルギー>
- 13 仕事を計算することができる。
- 14 仕事率を計算することができる。
- 15 位置エネルギーと運動エネルギーの関係を理解している。
- 16 エネルギー変換が分かる。
- 17 <生命の循環>
- 18 生産者・消費者など、食物連鎖が分かる。
- 19 分解者のはたらきを理解している。
- 20 <物質の探求>
- 21 物質を単体・化合物・混合物に分類できる。
- 22 混合物の分離法を説明できる。
- 23 蒸留装置のしくみを説明できる。
- 24 同素体の種類と特徴を説明できる。
- 25 炎色反応する金属イオンとその色の組み合わせを書ける。
- 26 沈殿の生成によって確認できる元素が分かる。
- 27 物質の三態の状態変化を書ける。
- 28 セルシウス温度と絶対温度の変換ができる。
- 29 <原子の構造と周期表>
- 30 原子に含まれる陽子・中性子・電子の数が分かる。
- 31 周期表の20番までの物質の名称と元素記号が書ける。
- 32 同位体を説明できる。
- 33 原子の電子配置が書ける。
- 34 典型元素の族ごとのグループの名称が分かる。
- 35 原子から陽イオン・陰イオンになるしくみが説明できる。
- 36 基本的なイオン式が書ける。
- 37 イオン化エネルギー、電子親和力について説明できる。
- 38 同一周期の元素の原子半径の大きさのきまりが説明できる。
- 39 同じ希ガスの電子配置をとるイオンのイオン半径の大きさの順が説明できる。
- 40 周期律とグラフの関係が読み取れる。
- 41 <化学結合>
- 42 陽イオンと陰イオンを組み合わせる組成式が書ける。
- 43 イオン結晶の特徴が説明できる。
- 44 分子内の結合を電子式を用いて書ける。
- 45 分子式と分子の形の組み合わせが分かる。
- 46 配位結合のしくみを説明できる。
- 47 電気陰性度について説明できる。
- 48 分子の形と極性の関係が説明できる。
- 49 分子結晶の特徴が説明できる。
- 50 水が固体になると体積が大きくなる理由が説明できる。
- 51 共有結合の特徴が説明できる。
- 52 金属結合の特徴が説明できる。
- 53 化学結合ごとにその特徴や結晶の例をまとめることできる。
- 54 <物質と化学反応式>
- 55 2種類の同位体をもつ元素の相対質量が計算できる。
- 56 化学式からモル質量が計算できる。

- | | | |
|----|--------------------------|--------------------------------------|
| 57 | <input type="checkbox"/> | 物質質量とモル質量を用いた計算ができる。 |
| 58 | <input type="checkbox"/> | 物質質量とアボガドロ数を用いた計算ができる。 |
| 59 | <input type="checkbox"/> | 物質質量と標準状態の体積を用いた計算ができる。 |
| 60 | <input type="checkbox"/> | モル質量、アボガドロ数、気体の標準状態の体積を組み合わせた計算ができる。 |
| 61 | <input type="checkbox"/> | モル濃度の計算ができる。 |
| 62 | <input type="checkbox"/> | モル濃度と密度、質量パーセント濃度を用いた計算ができる。 |
| 63 | <input type="checkbox"/> | 化学反応式の係数が決定できる。 |
| 64 | <input type="checkbox"/> | 係数の比とモル比を使って量的関係を調べることができる。 |
| 65 | | <酸と塩基> |
| 66 | <input type="checkbox"/> | 酸と塩基の定義が説明できる。 |
| 67 | <input type="checkbox"/> | 反応式を見てブレンステッド・ローリーの酸・塩基を判別できる。 |
| 68 | <input type="checkbox"/> | 酸・塩基の価数と強弱を判別できる。 |
| 69 | <input type="checkbox"/> | 水素イオン濃度をpHに直すことができる。 |
| 70 | <input type="checkbox"/> | pH指示薬と使える組み合わせが判別できる。 |
| 71 | <input type="checkbox"/> | 中和反応式が書ける。 |
| 72 | <input type="checkbox"/> | 中和滴定で使う器具が分かる。 |
| 73 | <input type="checkbox"/> | 塩の種類を判別できる。 |
| 74 | <input type="checkbox"/> | 中和滴定の計算ができる。 |

中学3年 (科人物理分野)	通年	1	<力のつり合い>
		2	<input type="checkbox"/> 矢印を用いて力を表すことができる。
		3	<input type="checkbox"/> フックの法則が分かる。
		4	<input type="checkbox"/> 2つの力がつりあう条件が分かる。
		5	<input type="checkbox"/> 水圧と浮力の関係を理解している。
		6	<input type="checkbox"/> 合力・分力を作図することができる。
		7	<運動の法則>
		8	<input type="checkbox"/> 等速直線運動が分かる。
		9	<input type="checkbox"/> 慣性の法則が分かる。
		10	<input type="checkbox"/> 瞬間の速さ・平均の速さを計算することができる。
		11	<input type="checkbox"/> 作用と反作用の関係を理解している。
		12	<仕事とエネルギー>
		13	<input type="checkbox"/> 仕事を計算することができる。
		14	<input type="checkbox"/> 仕事率を計算することができる。
		15	<input type="checkbox"/> 位置エネルギーと運動エネルギーの関係を理解している。
		16	<input type="checkbox"/> エネルギー変換が分かる。

- | | |
|----|---|
| 1 | <生物の特徴> |
| 2 | <input type="checkbox"/> 生物の共通性を説明できる。 |
| 3 | <input type="checkbox"/> マイクロメーターで生物の大きさを測定できる。 |
| 4 | <input type="checkbox"/> 真核細胞の構造を図示できる。 |
| 5 | <input type="checkbox"/> 各細胞小器官の役割を説明できる。 |
| 6 | <input type="checkbox"/> 真核生物、原核生物の違いを説明できる。 |
| 7 | <input type="checkbox"/> 同化と異化について説明できる。 |
| 8 | <input type="checkbox"/> ATPの基本構造を図示できる。 |
| 9 | <input type="checkbox"/> 酵素の働きと性質を説明できる。 |
| 10 | <input type="checkbox"/> 光合成と呼吸の反応式を書ける。 |
| 11 | <遺伝子とその働き> |
| 12 | <input type="checkbox"/> DNAの構造を説明できる。 |
| 13 | <input type="checkbox"/> シャルガフの規則をもとに塩基の割合を計算できる。 |
| 14 | <input type="checkbox"/> ゲノムについて説明できる |
| 15 | <input type="checkbox"/> 真核細胞のDNAの特徴を説明できる。 |
| 16 | <input type="checkbox"/> セントラルドグマについて説明できる。 |
| 17 | <input type="checkbox"/> RNAとDNAの違いを3つ説明できる。 |
| 18 | <input type="checkbox"/> DNAの転写の仕組みを説明できる。 |
| 19 | <input type="checkbox"/> 細胞分裂における各期の特徴を箇条書できる。 |
| 20 | <input type="checkbox"/> 間期におけるDNAの複製手順を説明できる。 |
| 21 | <input type="checkbox"/> 細胞周期を利用して各分裂期にかかる時間が計算できる。 |
| 22 | <生物の体内環境の維持> |
| 23 | <input type="checkbox"/> 恒常性を説明できる。 |
| 24 | <input type="checkbox"/> 3種類の体液について説明できる。 |
| 25 | <input type="checkbox"/> 血液循環の経路を説明できる。 |
| 26 | <input type="checkbox"/> 血球成分の特徴について説明できる。 |
| 27 | <input type="checkbox"/> 酸素解離曲線から必要なデータを読み取り放出酸素量を計算できる。 |
| 28 | <input type="checkbox"/> 腎臓の構造とはたらきを説明できる。 |
| 29 | <input type="checkbox"/> 尿生成における各種成分の再吸収量を計算できる。 |
| 30 | <input type="checkbox"/> 肝臓の構造とはたらきを説明できる。 |
| 31 | <input type="checkbox"/> 各器官に対する自律神経系のはたらきの違いを説明できる。 |
| 32 | <input type="checkbox"/> ホルモンの特徴を説明できる。 |
| 33 | <input type="checkbox"/> 内分泌腺と放出されるホルモンについて一覧表が書ける。 |
| 34 | <input type="checkbox"/> フィードバックについて説明できる。 |
| 35 | <input type="checkbox"/> 血糖量調節に関する自律神経系及びホルモンのはたらきを説明できる。 |
| 36 | <input type="checkbox"/> 糖尿病についてⅠ型とⅡ型の違いを説明できる。 |
| 37 | <input type="checkbox"/> 脳下垂体を除去した場合の内分泌系の変化について説明できる。 |
| 38 | <input type="checkbox"/> 生体防御システムのうち化学的、物理的防御について説明できる。 |
| 39 | <input type="checkbox"/> 自然免疫について説明できる。 |
| 40 | <input type="checkbox"/> 細胞性免疫の流れを説明できる。 |
| 41 | <input type="checkbox"/> 体液性免疫の流れを説明できる。 |
| 42 | <input type="checkbox"/> 免疫系の異常(アレルギーや免疫疾患)について説明できる。 |
| 43 | <input type="checkbox"/> ワクチンと血清について説明できる。 |
| 44 | <生物の多様性と生態系> |
| 45 | <input type="checkbox"/> 森林の階層構造の特徴を説明できる。 |
| 46 | <input type="checkbox"/> 陽葉と陰葉を光合成曲線の違いから判別できる。 |
| 47 | <input type="checkbox"/> 植生遷移の流れを説明できる。 |
| 48 | <input type="checkbox"/> 世界の各バイオームの特徴を説明できる。 |
| 49 | <input type="checkbox"/> 日本のバイオームの水平分布と垂直分布を説明できる。 |
| 50 | <input type="checkbox"/> 生態系における生物と非生物的環境の相互作用を説明できる。 |
| 51 | <input type="checkbox"/> 食物連鎖と栄養段階について説明できる。 |
| 52 | <input type="checkbox"/> 炭素循環を説明できる。 |
| 53 | <input type="checkbox"/> 窒素循環を説明できる。 |
| 54 | <input type="checkbox"/> キーストーン種について説明できる。 |
| 55 | <input type="checkbox"/> 人間活動を原因とした生態系バランスの乱れについて具体例を挙げられる。 |

湯梨浜学園 VICTORY LIST 英語

中学
1年

通年

- 1 フォニックスの基本を理解して発音できる
- 2 月、曜日など基本単語を間違えず書くことができる
- 3 クラスルームイングリッシュを何も見ずに言うことができる
- 4 I am を使って簡単な自己紹介ができる
- 5 You areを使って相手について言える
- 6 a(an)やmy,yourなどを理解して正しく使える
- 7 this(that)、he(she)を使った文がつかれる
- 8 基本的な形容詞を覚えて使える
- 9 What is～?やWho is～?の疑問文と答え方を理解して使える
- 10 AorBの疑問文と否定文を正しく書ける
- 11 be動詞の疑問文と否定文を正しく書ける
- 12 一般動詞の文を理解する
- 13 一般動詞の疑問文と否定文を理解して正しく書ける
- 14 主格・所有格・目的格の人称代名詞を覚えて正しく使える
- 15 複数形のつくり方を理解し正しく書ける
- 16 How many～?の疑問文を正しく使える
- 17 代名詞の複数形を覚えて正しく使える
- 18 1～3人称を理解する
- 19 人称に応じた一般動詞の活用ができる
- 20 doesを使った疑問文や否定文がつかれる
- 21 頻度を表す副詞を正しい位置で使える
- 22 疑問詞where,whenを使った疑問文と答え方を理解して使える
- 23 所有代名詞を覚える
- 24 疑問詞whoseを理解し使える
- 25 How+形容詞の疑問文を覚えて使える
- 26 Who+一般動詞のたずね方と答え方を理解して正しく使える
- 27 疑問詞whichを理解して使う
- 28 いろいろな命令文を理解して使い分ける
- 29 助動詞canの文が正しく書ける
- 30 動詞のing形を正しくつかれる
- 31 be動詞を忘れずに進行形の文がつかれる
- 32 現在進行形の文と現在形の文が区別できる
- 33 規則動詞の過去形を覚える
- 34 過去を表す語句を使って過去の文が書ける
- 35 不規則動詞の過去形を覚える
- 36 be動詞の過去形を使った文を理解して使える
- 37 過去進行形の文が正しく書ける
- 38 日時や天候、距離などを表す文でitを覚える
- 39 be going toを使って未来の文を表現できる
- 40 未来を表す語句を覚える
- 41 疑問詞を使ってbe going toの疑問文が書ける
- 42 Why～?とBecause…の問答を理解する
- 43 助動詞willを使った未来の文が書ける
- 44 助動詞mayを使った表現を覚える
- 45 助動詞mustを理解して正しく使える
- 46 There is～.の文を理解して使える
- 47 単数か複数に応じて文がつかれる
- 48 場所を表す語句を覚える
- 49 数や量を表す表現を覚える
- 50 Howを使った疑問文が使える
- 51 as～as…の文を使って表現できる
- 52 比較級、最上級を覚える
- 53 比較級の文を理解して正しく使える
- 54 最上級の文を理解して正しく使える
- 55 不規則に変化する比較級・最上級を覚える
- 56 whichやwhat,whoを使った疑問文が正しく書ける

- 1 shallやwillを使った表現を覚えて使える
- 2 would like toを理解して使える
- 3 have toをさまざまな文で正しく使える
- 4 第1文型～第3文型を理解する
- 5 不定詞の名詞的用法を理解して使える
- 6 不定詞の副詞的用法を理解して使える
- 7 不定詞の形容詞的用法を理解して使える
- 8 andやorなどの接続詞を理解して使える
- 9 接続詞whenの文を正しく書くことができる
- 10 “時”を表す接続詞を覚えて使い分けすることができる
- 11 接続詞ifの文を理解して正しく使える
- 12 becauseやthoughなどの接続詞を覚えて使える
- 13 接続詞thatを理解して使える
- 14 第4文型の文が正しく書ける
- 15 第5文型の文を理解して使える
- 16 動名詞を英文中の主語や補語として使える
- 17 動名詞を動詞や前置詞の目的語として使える
- 18 不定詞と動名詞の使い分けができる
- 19 過去分詞を覚える
- 20 現在完了の完了用法を理解する
- 21 現在完了の経験用法を理解する
- 22 頻度(回数)をたずねる疑問文をつくれる
- 23 現在完了の継続用法を理解する
- 24 継続の期間をたずねる疑問文をつくれる
- 25 受動態と能動態を理解する
- 26 受動態の肯定文や否定文をつくれる
- 27 受動態の疑問文を正しくつくれる
- 28 受動態の熟語表現を覚える
- 29 第4文型と第5文型の文を受動態にできる
- 30 普通名詞・集合名詞、不可算名詞について理解する
- 31 不定代名詞と再帰代名詞を理解する
- 32 前置修飾と後置修飾を理解する
- 33 現在分詞・過去分詞による修飾を理解する
- 34 後置修飾の語句整序問題や英作文ができる
- 35 主格の関係代名詞を理解する
- 36 目的格の関係代名詞を理解する
- 37 先行詞による関係代名詞の使い分けができる
- 38 関係代名詞を正しく省略することができる
- 39 関係代名詞thatを理解して使える
- 40 It ～ (for -) to…の文を正しく表現できる
- 41 SVO+to…の文を覚えて使い分けすることができる
- 42 疑問詞+to…を正しく英文中に使える
- 43 too～to…の文を理解して使う
- 44 ～enough to…の文を理解する
- 45 比較級を使った応用表現を覚える
- 46 間接疑問文を理解する
- 47 語句整序問題でも正しく間接疑問文がつくれる
- 48 付加疑問文を理解して使える
- 49 感嘆文を理解して使える

- 1 現在完了進行形を理解する(NT.L1)
- 2 現在完了進行形の疑問文や否定文をつくれる(NT.L1)
- 3 過去完了を理解する(NT.L1)
- 4 過去完了の疑問文や否定文をつくれる(NT.L1)
- 5 過去完了進行形を理解する(NT.L1)
- 6 過去完了進行形の疑問文や否定文をつくれる(NT.L1)
- 7 “推量”を表す should を覚えて使える(NT.L2)
- 8 may(might)+have+過去分詞を理解して使える(NT.L2)
- 9 must(cannot)+have+過去分詞を理解して使える(NT.L2)
- 10 should+have+過去分詞を理解して使える(NT.L2)
- 11 意志や習慣を表す will、would を理解して使える(NT.L2)
- 12 used to、ought to の意味と用法を理解して使える(NT.L2)
- 13 It～(of～) to…の文を正しく表現できる(NT.L3)
- 14 不定詞の否定形を理解して使える(NT.L3)
- 15 使役動詞の意味と用法を理解して使える(NT.L4)
- 16 知覚動詞+目的語+原形不定詞を理解して使える(NT.L4)
- 17 知覚動詞+目的語+現在(過去)分詞を理解して使える(NT.L4)
- 18 seem(appear) to を理解して使える(NT.L4)
- 19 It seems(appears) that…の文を正しく表現できる(NT.L4)
- 20 完了不定詞を理解して使える(NT.L4)
- 21 助動詞を含む文の受動態を理解する(NT.L5)
- 22 進行形の受動態を理解する(NT.L5)
- 23 完了形の受動態を理解する(NT.L5)
- 24 使役動詞・知覚動詞の受動態を理解する(NT.L5)
- 25 相関接続詞を覚えて使い分ける(NT.L6)
- 26 「～も同じである」という表現を覚える(NT.L6)
- 27 “時”を表す接続詞を覚えて使い分ける(NT.L6)
- 28 “原因・理由”を表す接続詞を覚えて使い分ける(NT.L6)
- 29 “譲歩”を表す接続詞を覚えて使い分ける(NT.L6)
- 30 “目的”を表す接続詞を覚えて使い分ける(NT.L6)
- 31 “結果”を表す接続詞を覚えて使い分ける(NT.L6)
- 32 関係代名詞 whose を理解して使える(NT.L7)
- 33 関係代名詞 what を理解して使える(NT.L7)
- 34 関係代名詞の制限用法を理解して使える(NT.L7)
- 35 関係代名詞の非制限用法を理解して使える(NT.L7)
- 36 関係代名詞と前置詞を理解して使える(NT.L7)
- 37 関係副詞を覚えて使い分ける(NT.L8)
- 38 関係副詞を正しく省略することができる(NT.L8)
- 39 関係副詞の制限用法を理解して使える(NT.L8)
- 40 関係副詞の非制限用法を理解して使える(NT.L8)
- 41 疑問詞+do you think…?の疑問文がつくれる(NT.L9)
- 42 ifとwhetherの用法を覚えて使い分ける(NT.L9)
- 43 It～that…の文を正しく表現できる(NT.L9)
- 44 SVC(=分詞)の文を覚えて使い分ける(NT.L10)
- 45 have(get)+O+過去分詞の文を理解して使う(NT.L10)
- 46 make+O+過去分詞の文を理解して使う(NT.L10)
- 47 SVOC(=分詞)の文を覚えて使い分ける(NT.L10)
- 48 分詞構文を理解する(NT.L11)
- 49 分詞構文の意味を使い分ける(NT.L10)
- 50 分詞構文の否定形を理解して使える(NT.L10)
- 51 完了形の分詞構文を理解して使える(NT.L10)
- 52 直説法と仮定法を理解して使い分ける(NT.L11)
- 53 仮定法過去を理解する(NT.L11)
- 54 仮定法過去完了を理解する(NT.L11)
- 55 I wish…の文を正しく表現できる(NT.L11)
- 56 as if(though)…の文を表現できる(NT.L11)

- | | | |
|----|--------------------------|------------------------------------|
| 57 | <input type="checkbox"/> | 比較級+and+比較級の文を表現できる(NT.L12) |
| 58 | <input type="checkbox"/> | the+比較級~, the+比較級…の文を表現できる(NT.L12) |
| 59 | <input type="checkbox"/> | the+序数+最上級の文を表現できる(NT.L12) |
| 60 | <input type="checkbox"/> | 強調構文を理解する(NT.L12) |
| 61 | <input type="checkbox"/> | 強調語句を用いた強調を理解して使える(NT.L12) |
| 62 | <input type="checkbox"/> | 否定的な意味を表す語句を理解して使える(NT.L12) |
| 63 | <input type="checkbox"/> | 部分否定と全否定を覚えて使い分ける(NT.L12) |
| 64 | <input type="checkbox"/> | 否定を表す語句の倒置を理解して使える(NT.L12) |
| 65 | <input type="checkbox"/> | 副詞や補語を強調するための倒置を理解して使える(NT.L12) |